

産前・産後ケアに関するアンケート調査 報告書

平成26年12月

鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子育て応援課

目次

	ページ
【 I 調査の概要 】	
(1) 調査の内容	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査票の回答状況	1
【 II 調査結果の概要 】	
問 1 子どもの満月齢	2
問 2 子どもの数	2
問 3 母親の年齢	2
問 4 職の有無	3
問 5 家族構成	5
問 6 新生児訪問の有無と時期	5
問 7 生後 3 か月までの栄養	5
問 8 妊娠発覚時の気持ち	6
問 9 (1) 妊娠中の不安の有無	8
(2) 妊娠中の困ったことや不安の内容	8
(3) 妊娠中に最も困ったこと、不安なこと	10
問 10 (1) 妊娠中の困りごとの相談相手の有無	12
(2) 妊娠中の困りごとの相談相手	12
問 11 (1) 妊娠中の支援の有無	14
(2) 妊娠中に希望する支援	14
問 12 (1) 産後の体調面や精神面の状況	16
(2) 体調面・精神面の十分でなかった点	16
問 13 (1) 産後の育児に関する困ったことや辛かったことの有無	18
(2) 産後、育児に関して困ったことや辛かった点	18
(3) 産後の育児に関することで最も困ったり、辛かったこと	20
問 14 (1) 産後の困りごとの相談相手の有無	22
(2) 産後の困りごとの相談相手	22
問 15 お産～産後 2 か月までに受診・利用したもの	24
問 16 参加・利用したいサービス	26

問 17-1	産後デイケア〔日帰り滞在型〕の (1)利用希望 と (2)自己負担限度額.....	28
問 17-2	産後デイケア〔訪問型〕の (1)利用希望 と (2)自己負担限度額	29
問 17-3	産後ショートステイ〔宿泊型〕の (1)利用希望 と (2)自己負担限度額.....	30
問 17-4	産後ホームヘルプサービスの (1)利用希望 と (2)自己負担限度額.....	31
問 18	育児情報の取得先.....	32
問 19	(1)産後に支援してほしいかった、今後充実してほしい支援の有無.....	34
	(2)産後や今後充実を希望する支援策.....	34
	(3)産後や今後充実を希望する支援策の具体的内容	36

I 調査の概要

(1) 調査の内容

産前・産後ケアに関して、お母さま方が、どのような支援を望んでおられるかのニーズを把握し、今後に必要な施策を検討するため、アンケート調査を実施した。

(2) 調査対象

鳥取県内に在住の概ね0歳から1歳（平成25年8月1日から平成26年7月31日までの間に出生した者）のお子さんがある母を無作為で3,000人抽出し、アンケート調査を実施した。

(3) 調査方法

調査対象者に郵送配布し、平成26年11月12日（水）を回答期限とした。

- ・調査方法：郵送配布留置
- ・調査票発送：平成26年10月30日（木）
- ・回収締切：平成26年11月12日（水）

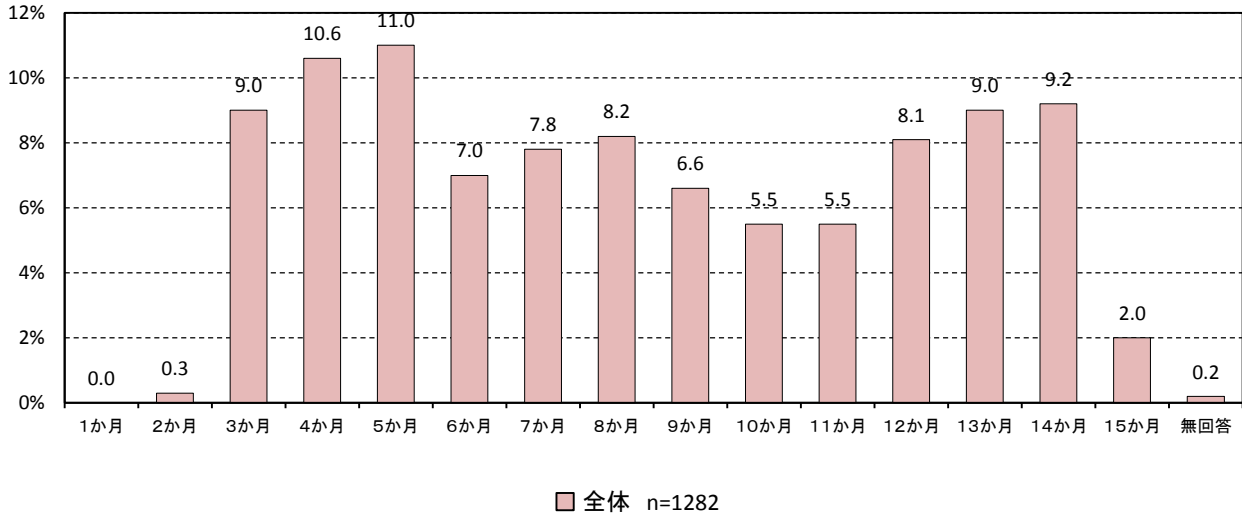
(4) 調査票の回答状況

標本数(抽出数):人	有効標本数:人	回答数:人	回収率:%
3,000 (うち不達:19)	2,981	1,282	43.0

Ⅱ 調査結果の概要

問1 お子さんの月齢を教えてください。(0歳から1歳までのお子さんで末子について)

問1 満月齢



問2 問1でお答えのお子さんは、はじめてのお子さんですか？ 又は何人目ですか？ (1つ〇印)

図2 子どもの数
n=1282

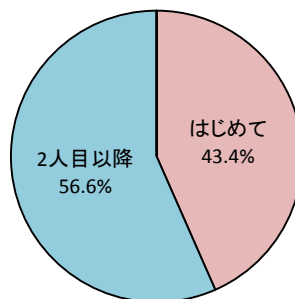
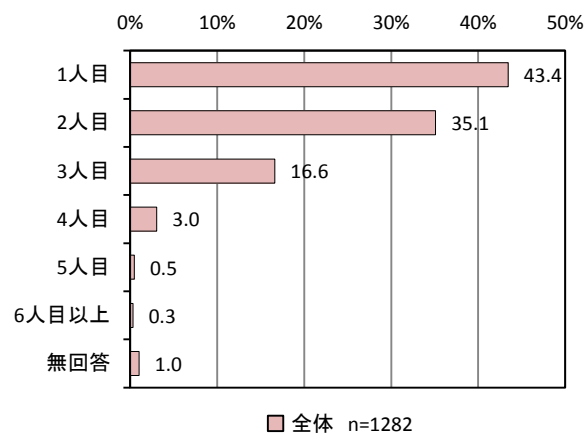
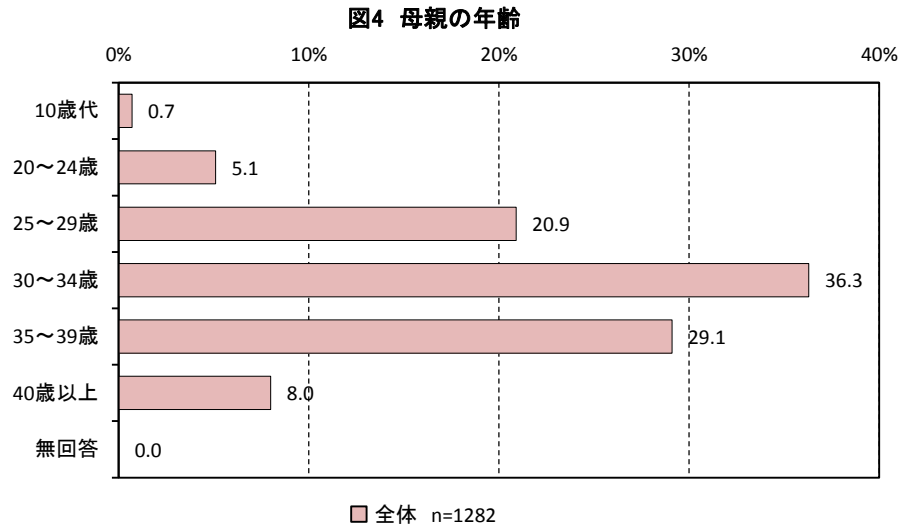


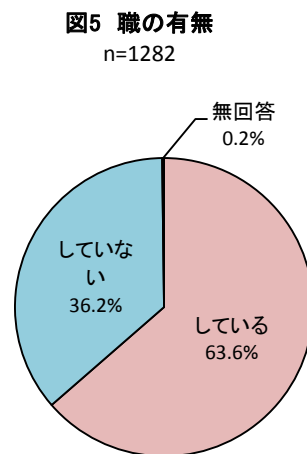
図3 子どもの数:人目



問3 おかあさまの年齢を教えてください。(1つ〇印)



問4 おかあさまは、現在お仕事をしていますか? (1つ〇印)

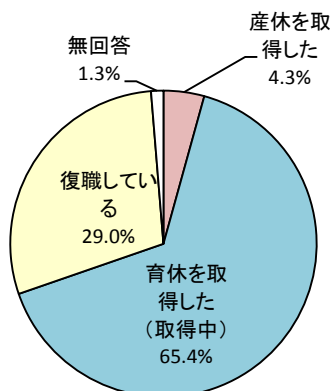


①している（「している」に○印の方は、以下に問いにお答えください）

↳ ①産休を取得した ②育休を取得した（取得中） ③復職している

図6 ①：就労状況

n=815



②していない（「していない」に○印の方は、下記の②-1 と②-2 にお答えください）

↳ ②-1 仕事を辞めた時期は ⇒ ①結婚時 ②妊娠中 ③産後

②-2 今後、就労について ⇒ ①考えている（ 年後頃） ②考えていない

図7 ②-1：仕事を辞めた時期

n=464

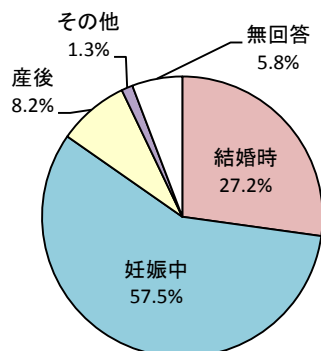


図8 ②-2：今後の就労について

n=464

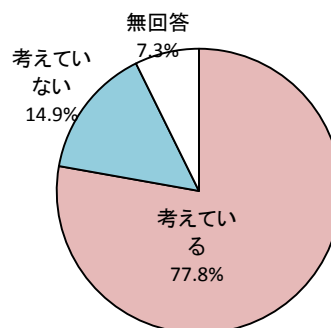
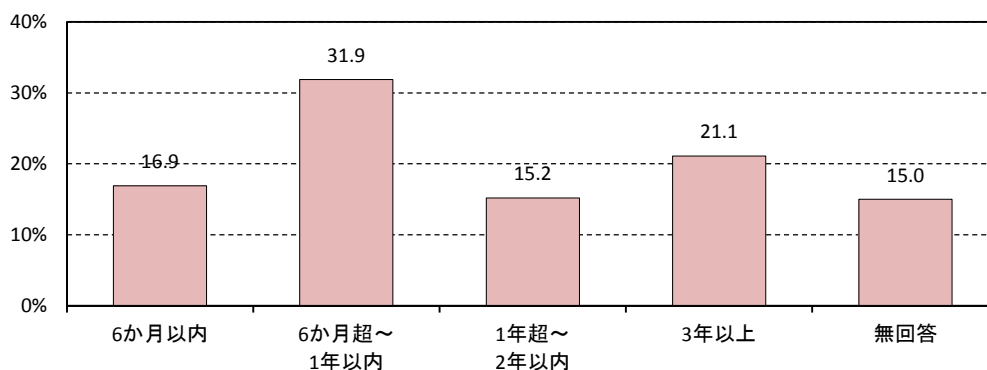


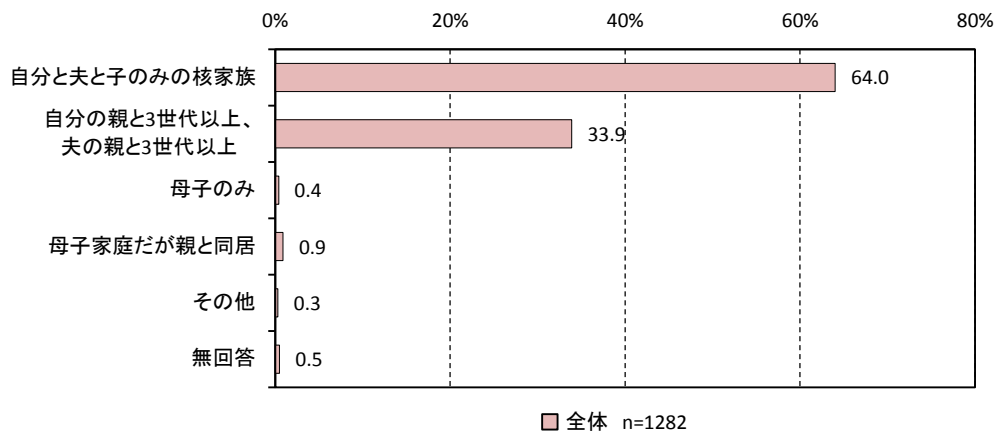
図9 ②-2：希望の就労時期



全体 n=361

問5 家族構成を教えてください。(1つ〇印)

図10 家族構成



問6 市町村からの新生児訪問は、受けましたか？ (1つ〇印)

①受けた(生後 月頃) ②受けていない

図11 新生児訪問の有無

n=1282

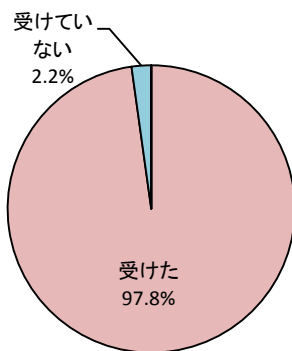
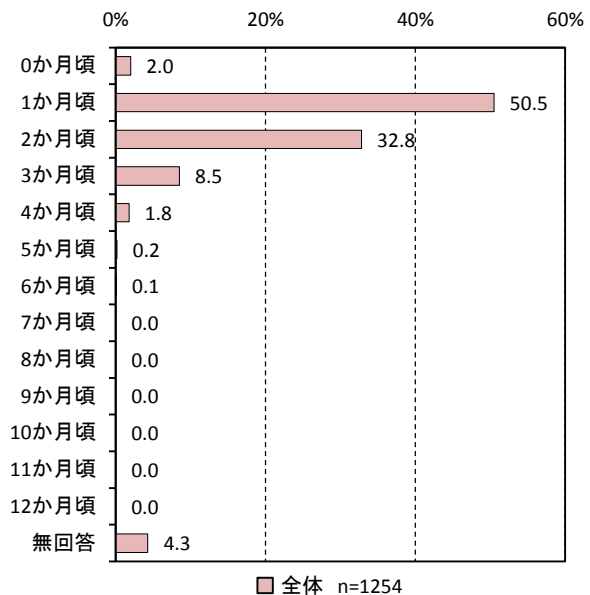


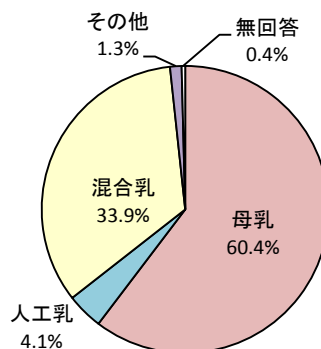
図12 新生児訪問時期



問7 生後3か月までの栄養は、どのようにしていますか？ (1つ〇印)

図13 生後3か月までの栄養

n=1282

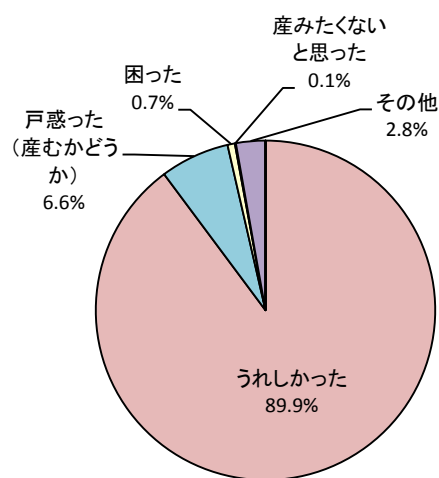


◆出産までのことについて

問8 妊娠がわかった時のおかあさまの気持ちを教えてください。(1つ〇印)
～うれしかった人が約9割、しかし、3人目以上は戸惑いの意見が多い～

妊娠がわかった時のおかあさまの気持ちは、「うれしかった」が89.9%と約9割を占めており、「戸惑った(産むかどうか)」が6.6%、「困った」が0.7%と、不安な意見はわずかとなっている。

図14 妊娠発覚時の気持ち
n=1282

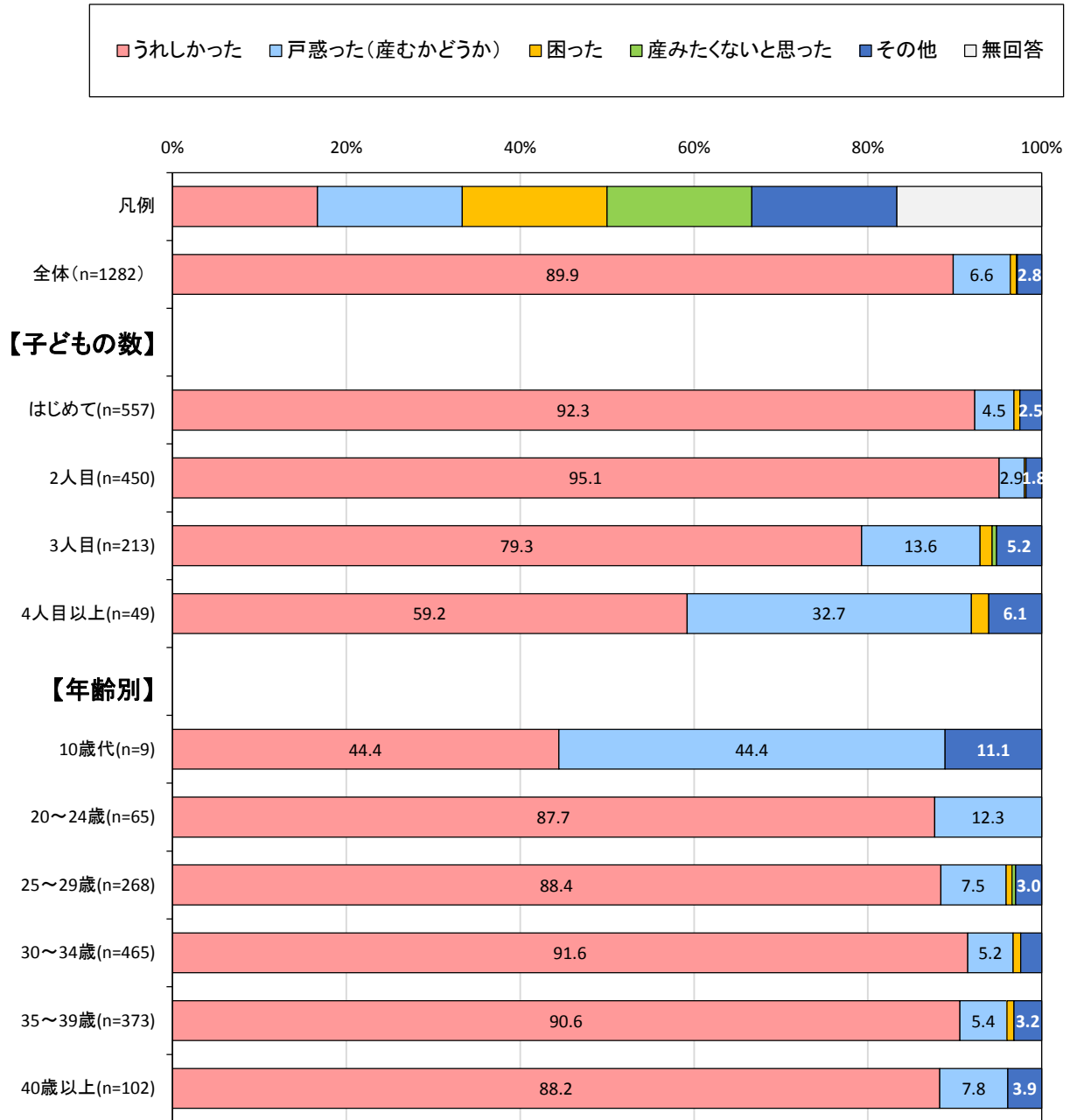


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別で見ると、『はじめて』の人は約9割が「うれしかった」と答えているが、僅かながらに「戸惑った(産むかどうか)」という意見もみられる。しかし、『3人目以上』の人では、子どもの数が増えるにしたがって「戸惑った(産むかどうか)」の意見が多くなっている。

○年齢別で見ると、『10歳代』では「うれしかった」と「戸惑った(産むかどうか)」が拮抗している。また、『20歳代以上』では「うれしかった」という意見が9割近くを占めている。

図15 妊娠発覚時の気持ち × 子どもの数・年齢別



お母さんの声

- びっくりしたが、うれしかった。
- 産むかどうか迷わなかったが、今後のことで不安はあった。
- うれしい反面不安もあった（3人目で金銭的など・・・）
- そうか、よし二人で育児頑張るぞ。ちゃんと大きくして、ちゃんと出てくればいいなと思った。
- 上の子の育児休暇中で、仕事復帰を考えていたので、戸惑った。産むかどうかということは悩む選択肢には無い。

問9 妊娠中、困ったことや不安はありましたか（1つ〇印）

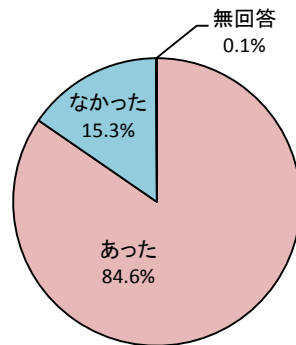
（1）妊娠中の不安の有無（1つ〇印）

～約9割の人が不安があった～

妊娠が発覚した時には、約9割が「うれしかった」と答えているが、妊娠中の不安は「あった」が84.6%と9割近くを占め、多くの人が不安があった。

図16 妊娠中の不安の有無

n=1282

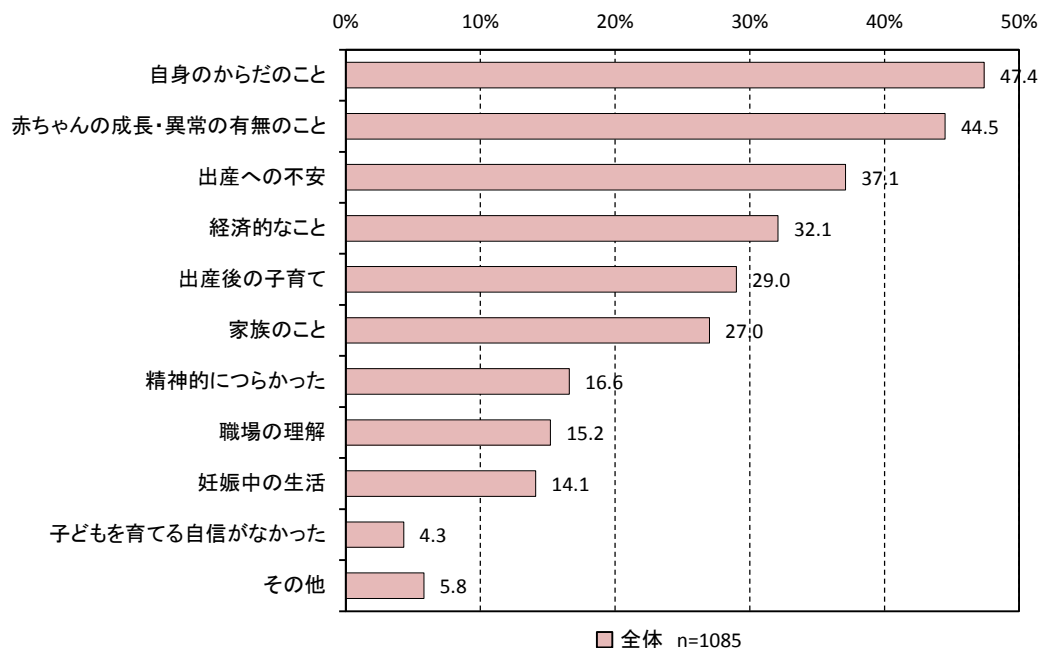


（2）妊娠中の困ったことや不安の内容（複数回答）

～自身の身体や赤ちゃんの身体（成長・異常）のことを半数近くが不安～

妊娠中の不安は、「自身のからだのこと」が47.4%、「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」が44.5%、「出産への不安」が37.1%と続き、自身や赤ちゃんの身体や出産への不安が上位項目となっており、次いで「経済的なこと」が32.1%、「出産後の子育て」が29.0%、「家族のこと」が27.0%と、主に出産後の不安が続いている。

図17 妊娠中の困ったことや不安の内容（複数回答）

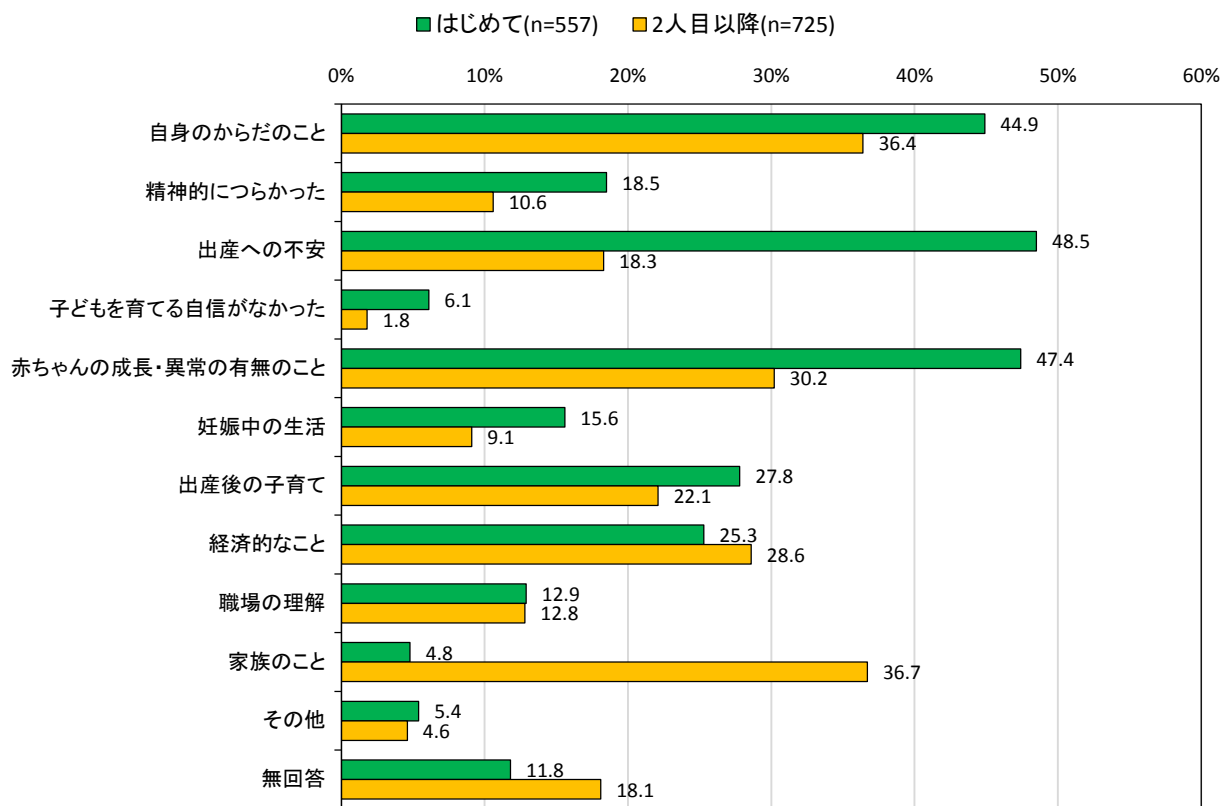


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると、『はじめて』の人は、トップに「出産への不安」、次いで「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」「自身のからだのこと」と続いている。一方、『2人目以降』の人は、トップに「家族のこと」と答え、次いで「自身のからだのこと」「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」「経済的なこと」と続いている。

○年齢別でみると、『10歳代』『20～24歳』では「出産への不安」「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」「経済的なこと」などの不安の意見が多い。また『10歳代』では「出産後の子育て」の意見も多い。『40歳以上』では「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」、『30～34歳』では「家族のこと」が多くみられる。

図18 妊娠中の困ったことや不安の内容 × 子どもの数



【表1】妊娠中の困ったことや不安の内容 × 年齢別

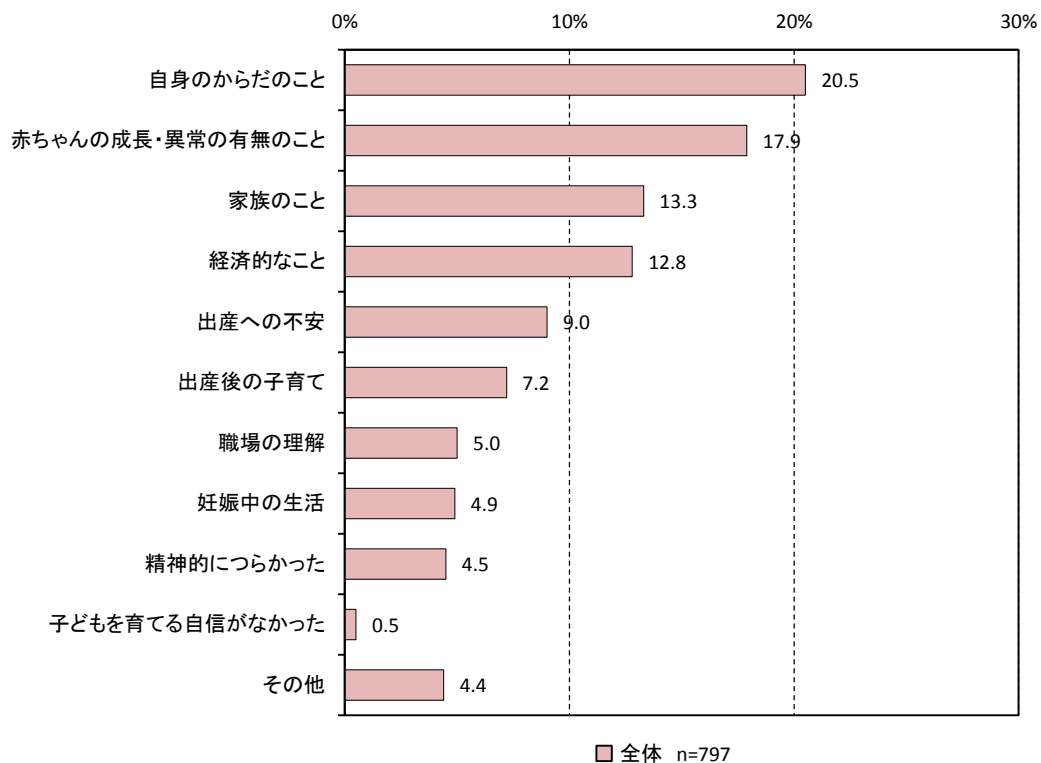
(%)	自身のからだのこと	精神的につらかった	出産への不安	子どもを育てる自信がなかった	赤ちゃんの成長・異常の有無のこと	妊娠中の生活	出産後の子育て	経済的なこと	職場の理解	家族のこと	その他	無回答
10歳代 (n=9)	44.4	11.1	66.7	11.1	55.6	11.1	55.6	55.6	22.2	22.2	0.0	11.1
20～24歳 (n=65)	29.2	24.6	43.1	3.1	41.5	13.8	27.7	44.6	7.7	13.8	3.1	12.3
25～29歳 (n=268)	37.7	19.0	34.3	6.0	35.1	12.7	28.7	29.1	13.1	20.9	4.1	14.6
30～34歳 (n=465)	41.3	14.8	32.3	4.3	32.0	12.9	24.5	25.8	13.8	27.5	5.2	14.8
35～39歳 (n=373)	41.0	9.9	24.7	1.9	39.7	11.5	20.9	25.2	12.9	21.7	5.9	18.2
40歳以上 (n=102)	44.1	5.9	34.3	1.0	58.8	5.9	22.5	21.6	10.8	16.7	3.9	11.8

(3) 妊娠中に最も困ったこと、不安なこと（1つ〇印）

～自身の身体や赤ちゃんの身体のこと～

妊娠中に最も困ったこと、不安なことは、「自身のからだのこと」が20.5%と最も多く、次いで「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」が17.9%、「家族のこと」が13.3%、「経済的なこと」が12.8%と続いている。

図19 妊娠中に最も困ったこと、不安なこと

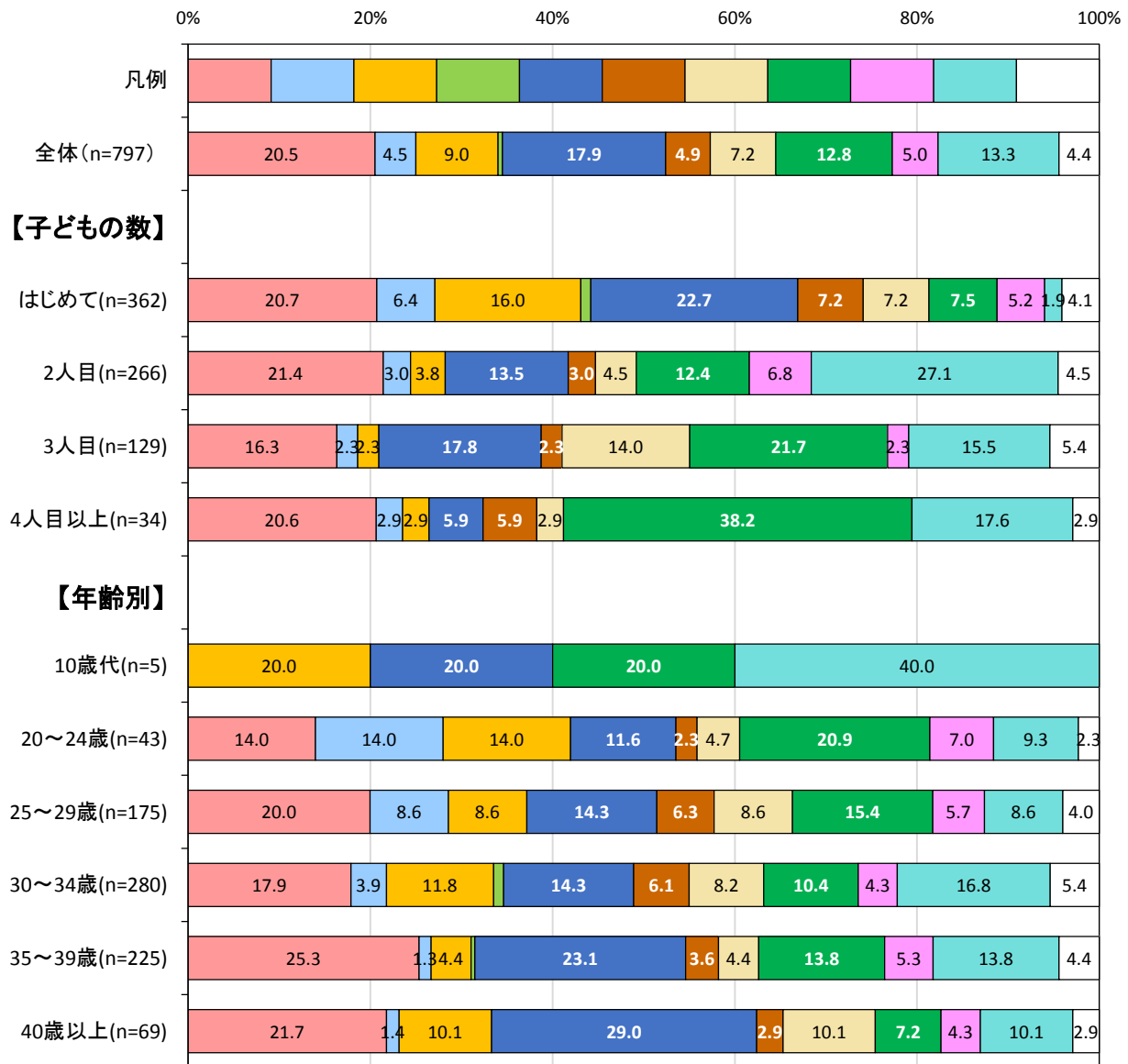
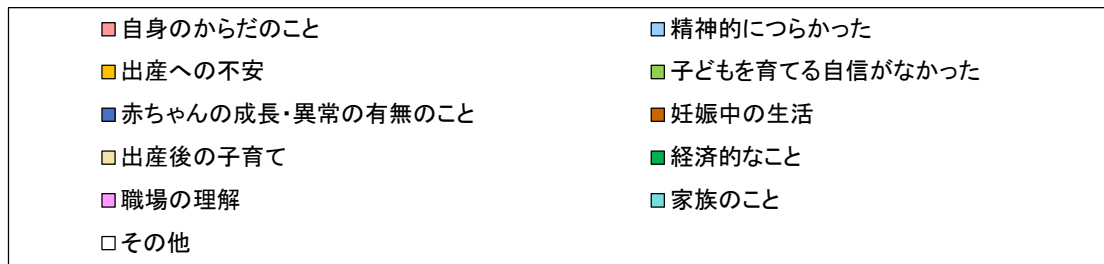


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると、『はじめて』の人は、トップに「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」、次いで「自身のからだのこと」「出産への不安」が大きなウエイトを占めている。『2人目』では、トップが「家族のこと」、次いで「自身のからだのこと」「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」「経済的なこと」が上位項目となっている。『3人目』では、トップが「経済的なこと」となっており、『3人目』『4人目以上』で「経済的なこと」が不安なことの上位となっている。

○年齢別でみると、『20歳以降』では年齢が高くなるほど「自身のからだのこと」「赤ちゃんの成長・異常の有無のこと」へのウエイトが大きくなっている。『20歳代』では「経済的なこと」、『30歳代』では「家族のこと」が大きくなっている。

図20 妊娠中に最も困ったこと、不安なこと × 子どもの数・年齢別



お母さんの声

- 体が疲れやすく、仕事と家事が大変でした。
- つわりがひどく家事ができない時期があった。
- 体重や栄養等の管理の自信がなかった。
- 妊娠中の不安を理解してもらえるとよいと思いました。
- 下の子を出産の時に、上の子をどうするかがすごく困りました。
- 妊婦中はつわりなどでほとんど働けずに収入が入らずとても困った。

問 10 妊娠中、困りごとなどを相談する相手はいましたか（1つ〇印）

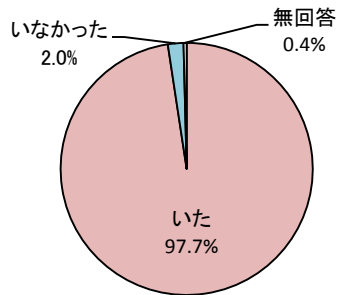
（1）妊娠中の困りごとの相談相手の有無（1つ〇印）

～妊娠中の相談相手は、ほとんどが「いた」～

妊娠中の相談相手は、「いた」が97.7%とほとんどの人に相談相手がいた。

図21 妊娠中の相談相手の有無

n=1282

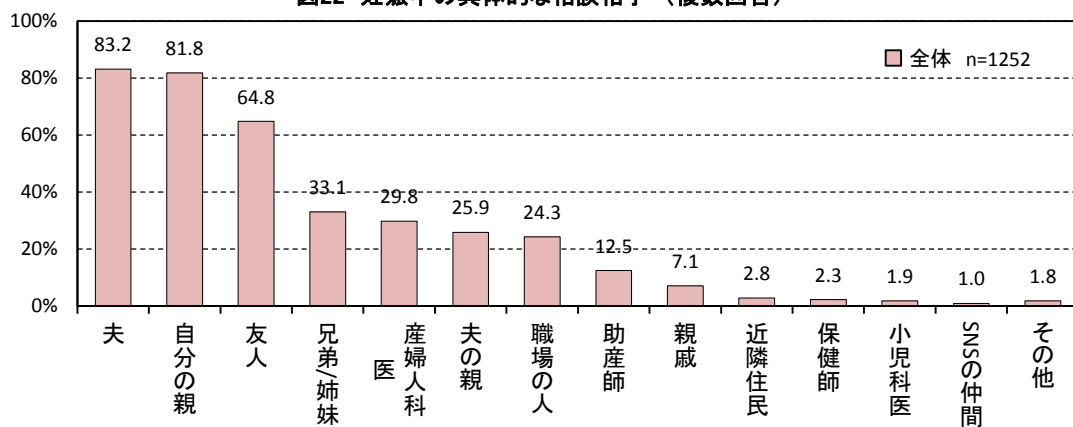


（2）妊娠中の困りごとの相談相手（複数回答）

～主な相談先は、夫や親～

妊娠中の具体的な相談相手は、「夫」が83.2%、「自分の親」が81.8%、次いで「夫の親」が64.8%と、夫や親が上位を占めている。次いで「親戚」が33.1%、「兄弟／姉妹」が29.8%、「友人」が25.9%、「近隣住民」が24.3%と続いている。

図22 妊娠中の具体的な相談相手（複数回答）



お母さんの声

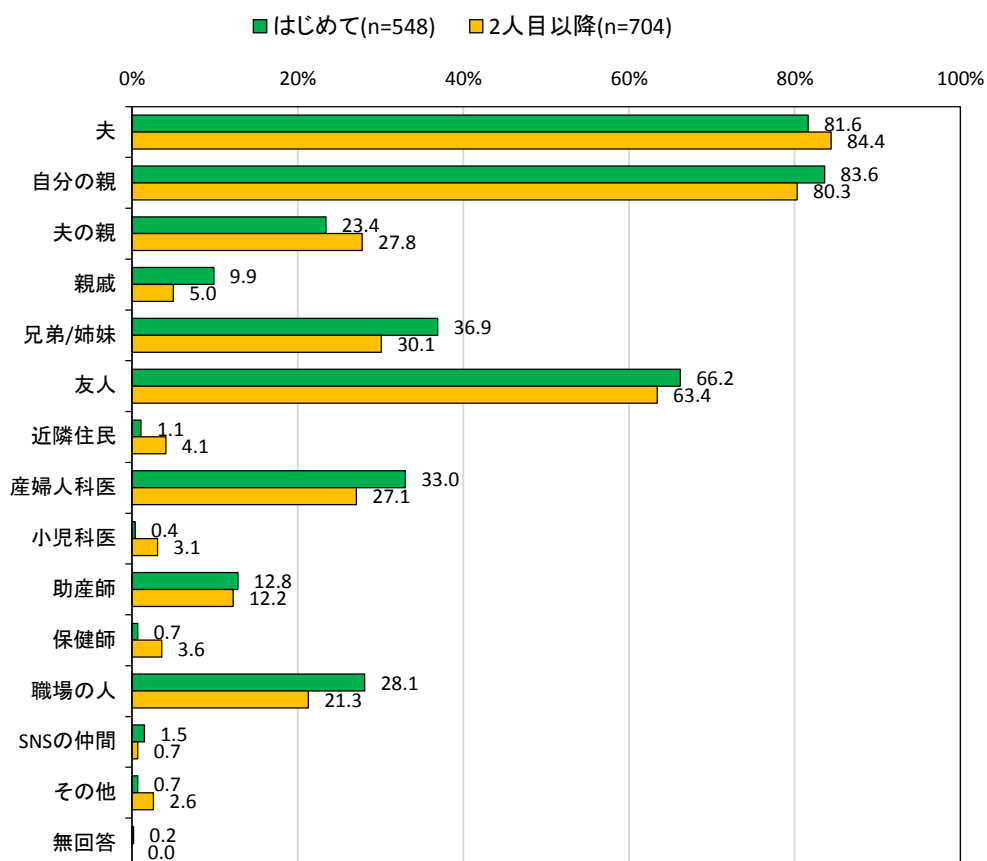
- 妊娠中に保健師や助産師に相談することを思いつかなかった。今、思えば気軽に相談しに行けば良かった。
- 家事を進んでかわってくれた家族がいてくれたからこそ安心して産むことができたと思う。
- 初めての育児で日々悩み、奮闘しています。産前にもっと同じ妊婦さん同士が交流できる場があればいいのに・・・と強く思います。
- 妊娠中や出産後、男性がもっと女性の事を知れる集まりが欲しかった。
- 全く職場の上司の理解が得られなかったことが残念です。

【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると、『はじめて』の人も『2人目以降』の人も、上位は「夫」「自分の親」「友人」であった。『はじめて』の人は、『2人目以降』の人と比較すると「兄弟／姉妹」「産婦人科医」「職場の人」を相談相手にしている人が多い。

○年齢別でみると、『20歳代』ではトップに「自分の親」、『30歳以上』では「夫」となっている。

図23 妊娠中の具体的な相談相手 × 子どもの数



【表 2】 妊娠中の具体的な相談相手 × 年齢別

(%)	夫	自分の親	夫の親	親戚	兄弟／姉妹	友人	近隣住民	産婦人科医	小児科医	助産師	保健師	職場の人	SNSの仲間	その他	無回答
10歳代 (n=9)	77.8	77.8	22.2	0.0	22.2	44.4	0.0	33.3	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
20～24歳 (n=63)	74.6	92.1	17.5	6.3	30.2	63.5	1.6	22.2	0.0	11.1	0.0	14.3	6.3	0.0	0.0
25～29歳 (n=264)	79.2	87.1	23.9	8.0	31.1	65.2	3.8	26.5	3.0	11.0	2.3	26.1	0.8	1.1	0.0
30～34歳 (n=453)	86.1	81.9	29.6	7.9	34.9	68.4	3.5	31.6	2.0	12.4	1.8	21.0	0.9	2.2	0.2
35～39歳 (n=361)	84.5	78.4	24.7	5.8	32.7	60.7	1.9	29.9	1.1	15.0	2.2	28.3	0.8	1.7	0.0
40歳以上 (n=102)	81.4	72.5	24.5	6.9	34.3	62.7	1.0	33.3	2.9	8.8	5.9	27.5	0.0	2.9	0.0

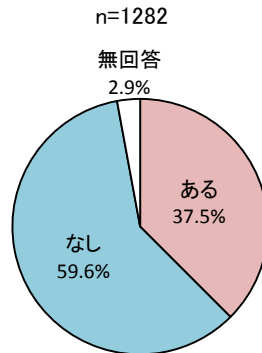
問 11 妊娠中、支援して欲しかった、または今後充実してほしい支援がありますか
(1 つ〇印)

(1) 妊娠中に希望する支援の有無 (1 つ〇印)

～支援を希望する意見が約4割～

妊娠中の支援の有無は、「なし」が59.6%、「ある」が37.5%と4割近くの人が支援を期待している。

図24 (1) 妊娠中に希望する支援の有無



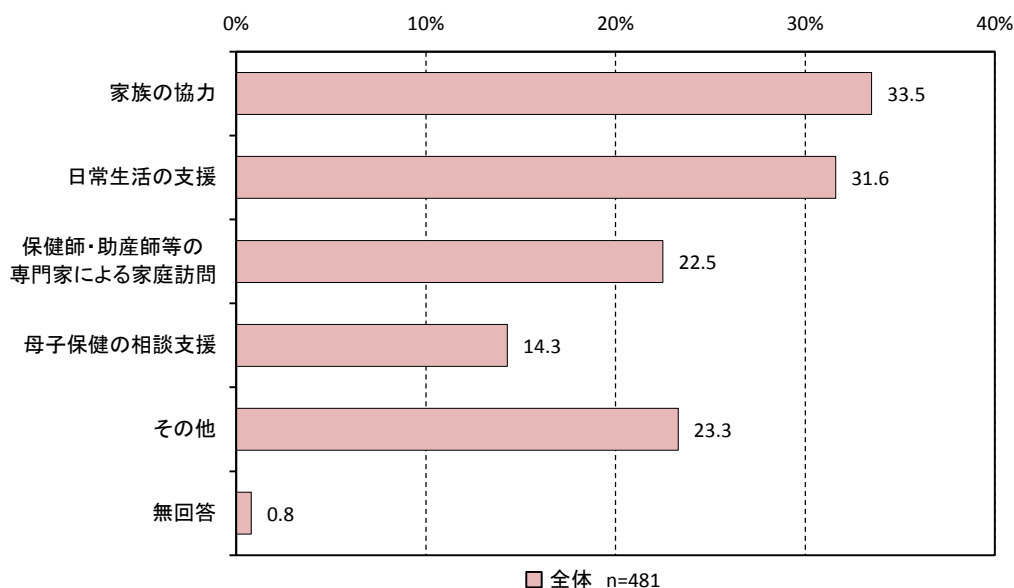
(2) 妊娠中に希望する支援 (複数回答)

～家族の協力を得ながらも専門家の支援にも期待～

妊娠中に支援を希望する人の具体的な内容は、「家族の協力」が33.5%と最も多く、次いで「日常生活の支援」が31.6%、「保健師・助産師等の専門家による家庭訪問」が22.5%、「母子保健の相談支援」が14.3%と続き、家族以外では、保健師・助産師等の専門家への支援を期待している。

また、「その他」では、『体調が悪い時、会社を早退させてもらったが、周りからの目が厳しく、理解が無かった』など、職場の妊婦への理解を求めている。

図25 (2) 妊娠中に希望する支援 (複数回答)

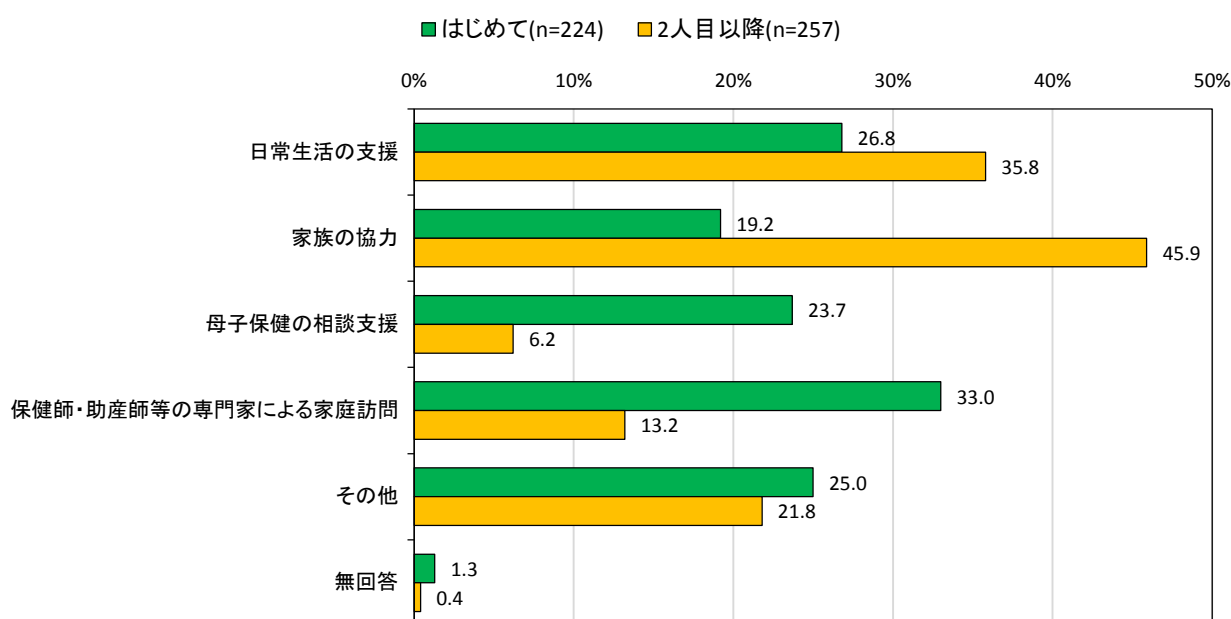


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの人数別でみると、『はじめて』の人は、『2人目以降』の人に比べ「保健師・助産師等の専門家による家庭訪問」「母子保健の相談支援」等の外部の専門機関・専門家の支援に対する希望が多い。『2人目以降』の人は、「家族の協力」「日常生活の支援」への希望が高い。

○年齢別でみると、『20歳代』では「保健師・助産師等の専門家による家庭訪問」の希望が多く、『30歳以上』では約3割の人が「日常生活の支援」を希望している。また、年齢が高くなるほど「家族の協力」を希望する意見が多くなっている。

図26 妊娠中に希望する支援 × 子どもの数



【表3】妊娠中に希望する支援 × 年齢別

(%)	日常生活の支援	家族の協力	母子保健の相談支援	保健師・助産師等の専門家による家庭訪問	その他	無回答
10歳代 (n=2)	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳 (n=18)	22.2	22.2	11.1	27.8	22.2	0.0
25～29歳 (n=94)	24.5	30.9	21.3	27.7	18.1	1.1
30～34歳 (n=178)	32.6	33.1	12.9	19.7	26.4	1.1
35～39歳 (n=147)	36.7	34.7	12.2	23.1	25.9	0.0
40歳以上 (n=42)	28.6	38.1	14.3	19.0	14.3	2.4

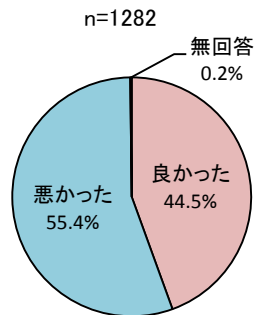
◆産後2か月までのことについて、お尋ねします。

問 12 産後、体調面や精神面は良かったですか（1 つ〇印）

（1）産後の体調面や精神面の状況（1 つ〇印）

～半数以上の方が産後の体調面や精神面が悪かった～

図27 産後の体調面や精神面の状況

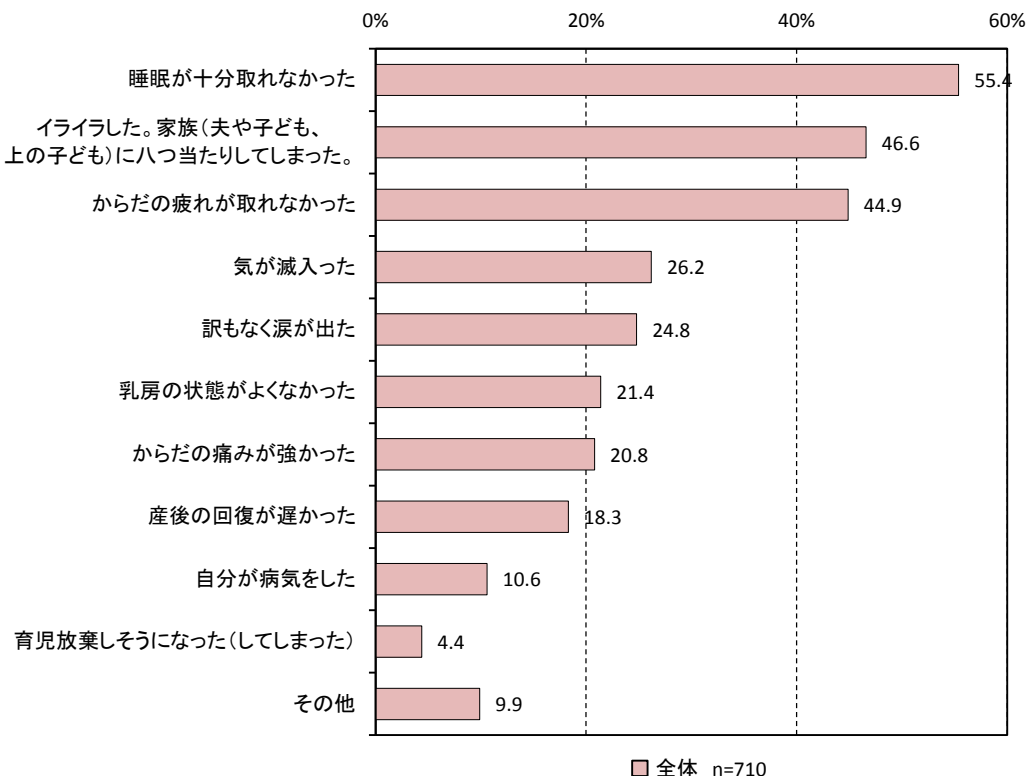


（2）体調面・精神面の十分でなかった点（産後の体調面や精神面が悪かった人のみ）（複数回答）

～睡眠が十分とれず、身体も疲れ、イライラして家族に八つ当たりしてしまった～

産後の体調面や精神面は、「睡眠が十分に取れなかった」が最も多く55.4%と半数以上を占め、次いで「イライラした。家族（夫や子ども、上の子ども）に八つ当たりしてしまっ」が46.6%、「からだの疲れが取れなかった」が44.9%と、産後の育児等による睡眠不足や身体の疲れにより、精神面で辛い面があったことがうかがわれる。

図28 体調面・精神面の不十分でなかった点（複数回答）

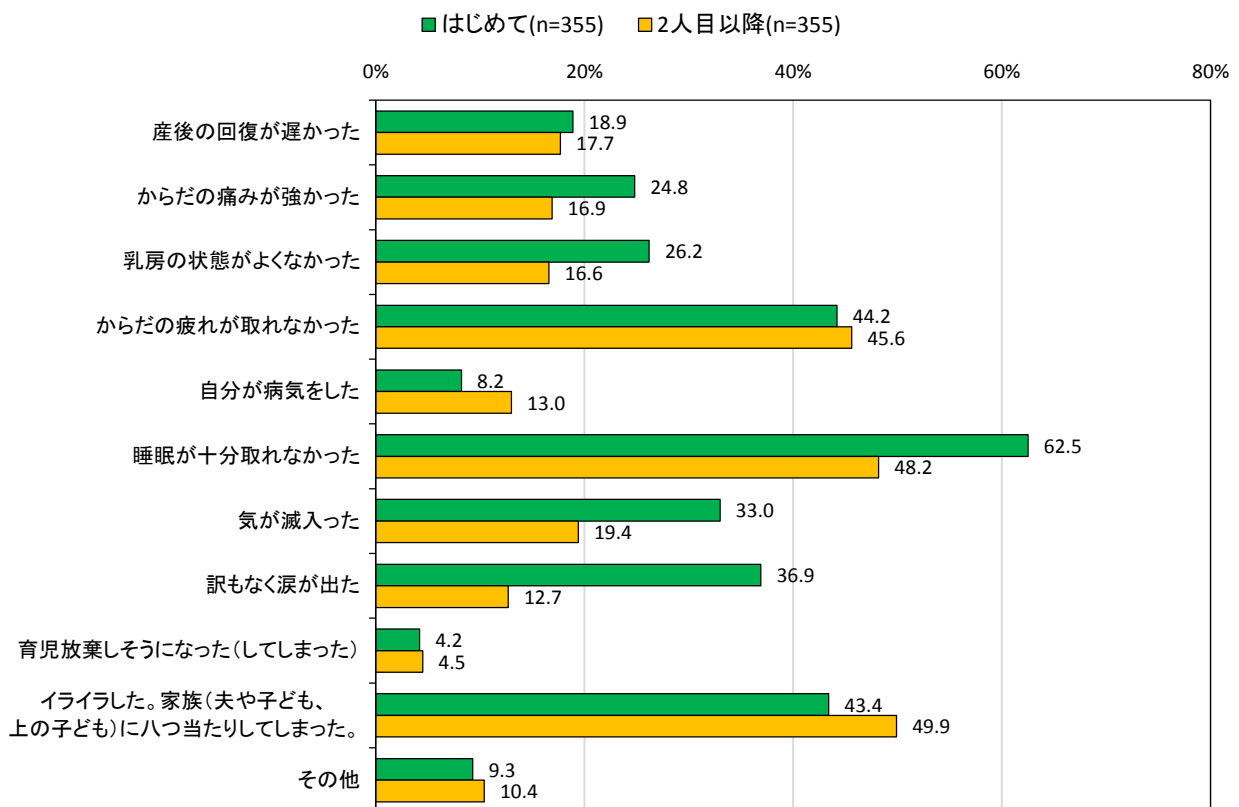


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると、子どもの数にかかわらず、「睡眠が十分取れなかった」「からだの疲れが取れなかった」「イライラした。家族に八つ当たりしてしまった」という3項目が多かった。また『はじめて』の人の3割以上が、「訳もなく涙が出た」「気が滅入った」と答えている。

○年齢別でみると、『20歳代』では「イライラした。家族に八つ当たりしてしまった」「訳もなく涙が出た」「気が滅入った」という意見が多く、また『35歳以上』では他の年代に比べ、「からだの疲れが取れなかった」「産後の回復が遅かった」という意見が多くみられる。

図29 産後の体調面・精神面状態 × 子どもの数



【表4】産後の体調面・精神面状態 × 年齢別

(%)	産後の回復が遅かった	からだの痛みが強かった	乳房の状態がよくなかった	からだの疲れが取れなかった	自分が病気をした	睡眠が十分取れなかった	気が滅入った	訳もなく涙が出た	育児放棄しそうになった(してしまった)	イライラした。家族に八つ当たりしてしまった。	その他
10歳代 (n=6)	33.3	16.7	16.7	83.3	0.0	50.0	33.3	16.7	16.7	66.7	0.0
20~24歳 (n=35)	11.4	20.0	22.9	37.1	2.9	54.3	31.4	37.1	8.6	62.9	22.9
25~29歳 (n=153)	16.3	19.0	22.2	45.8	9.2	52.9	31.4	31.4	4.6	51.0	5.2
30~34歳 (n=251)	16.7	23.5	22.3	40.6	11.6	54.2	24.3	25.1	6.0	46.2	10.0
35~39歳 (n=209)	20.1	18.2	19.6	47.4	12.0	59.8	22.0	19.1	1.9	43.1	10.0
40歳以上 (n=56)	26.8	25.0	21.4	53.6	10.7	51.8	32.1	19.6	1.8	37.5	14.3

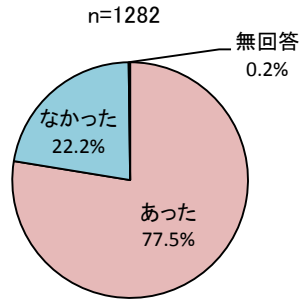
問 13 産後、育児に関して困ったことや辛かったことはありましたか（1つ〇印）

（1）産後の育児に関する困ったことや辛かったことの有無（1つ〇印）

～産後の育児に困ったり、辛かった人が7割以上～

産後の育児に関する困ったことや辛かったことは、「あった」が77.5%、「なかった」が22.2%と多くの人に困ったことや辛かったことがあったと答えている。

図30 （1）産後の育児に関する困ったことや辛かったことの有無



（2）産後、育児に関して困ったことや辛かった点（複数回答）

～授乳、上の子どものことに加えて、家事の負担が辛い～

産後の育児で困ったことや辛かった点は、「授乳のこと」が38.2%、「上の子どものこと」が35.8%と育児の環境項目が上位を占めているが、「家事（掃除・洗濯・料理など）」も27.1%を占め、育児に専念したい時期の家事の負担が辛いという意見もみられる。

図31 （2）産後、育児に関して困ったことや辛かった点（複数回答）

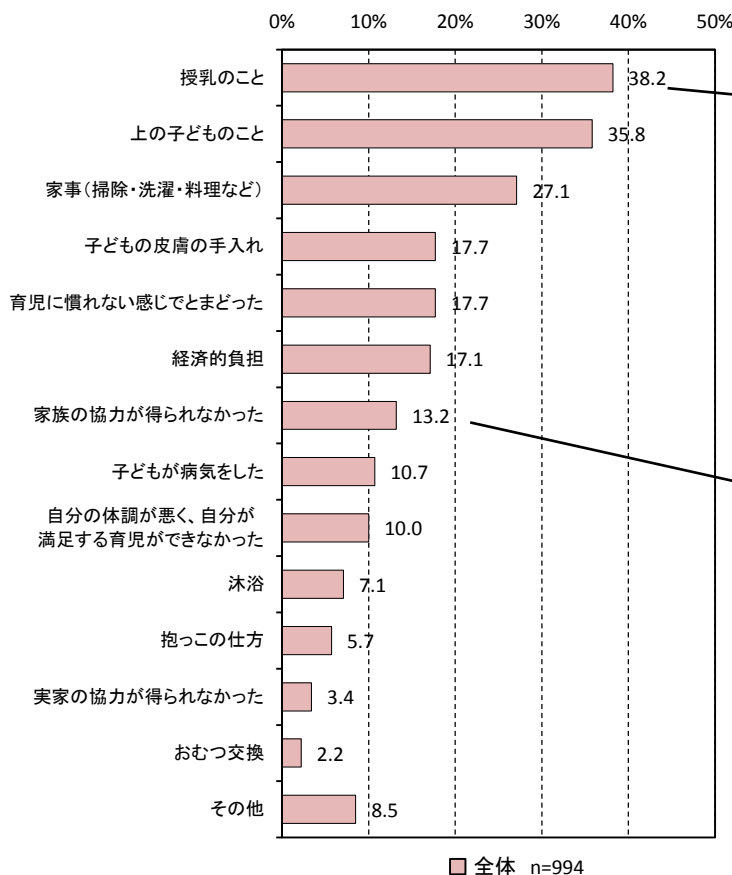


図32 授乳で困ったこと

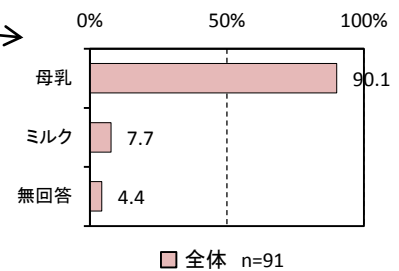
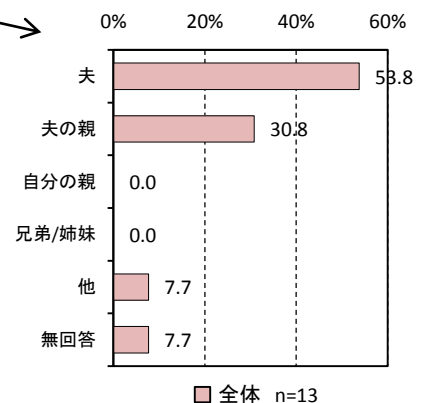


図33 家族の協力

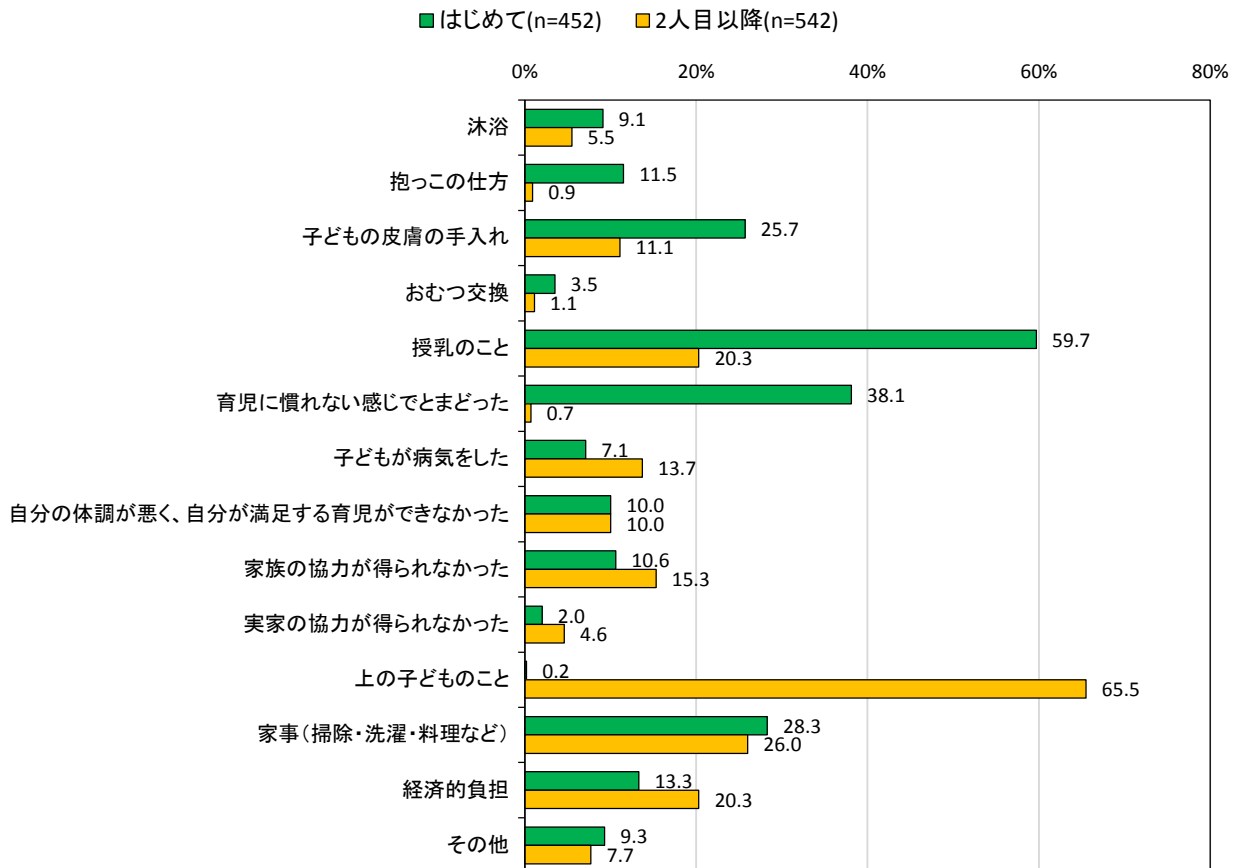


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると、『はじめて』の人は「授乳のこと」「育児に慣れない感じにとまどった」「家事（掃除・洗濯・料理など）」が多い。また『2人目以降』の人は「上の子どものこと」が圧倒的に多い。

○年齢別でみると、『10歳代～24歳』では「育児に慣れない感じにとまどった」「経済的負担」「子どもの皮膚の手入れ」が多く、『30歳代』では「上の子どものこと」が多くみられる。

図34 産後、育児に関して困ったことや辛かった点 × 子どもの数



【表4】産後、育児に関して困ったことや辛かった点 × 年齢別

(%)	沐浴	抱っこの仕方	子どもの皮膚の手入れ	おむつ交換	授乳のこと	育児に慣れない感じにとまどった	子どもが病気をした	自分が満足する育児ができなかった	自分の体調が悪く、自分が満足する育児ができなかった	家族の協力が得られなかった	実家の協力が得られなかった	上の子どものこと	家事(掃除・洗濯・料理など)	経済的負担	その他
10歳代 (n=8)	25.0	0.0	25.0	12.5	25.0	37.5	12.5	25.0	50.0	0.0	25.0	37.5	37.5	0.0	
20～24歳 (n=45)	6.7	2.2	35.6	4.4	44.4	26.7	4.4	11.1	17.8	2.2	13.3	20.0	24.4	6.7	
25～29歳 (n=218)	5.5	6.9	17.0	2.3	41.7	25.7	9.2	7.3	14.7	4.6	28.4	31.2	17.4	8.3	
30～34歳 (n=361)	8.3	5.8	17.2	3.3	38.0	16.9	11.1	9.7	11.6	3.0	39.1	24.9	16.1	8.6	
35～39歳 (n=286)	7.7	5.6	16.8	0.3	34.6	11.9	12.9	10.5	13.6	2.8	43.0	27.6	16.4	9.8	
40歳以上 (n=76)	2.6	5.3	14.5	1.3	40.8	13.2	7.9	14.5	7.9	5.3	28.9	26.3	17.1	5.3	

(3) 産後の育児に関することで最も困ったり、辛かったこと（1つ〇印）

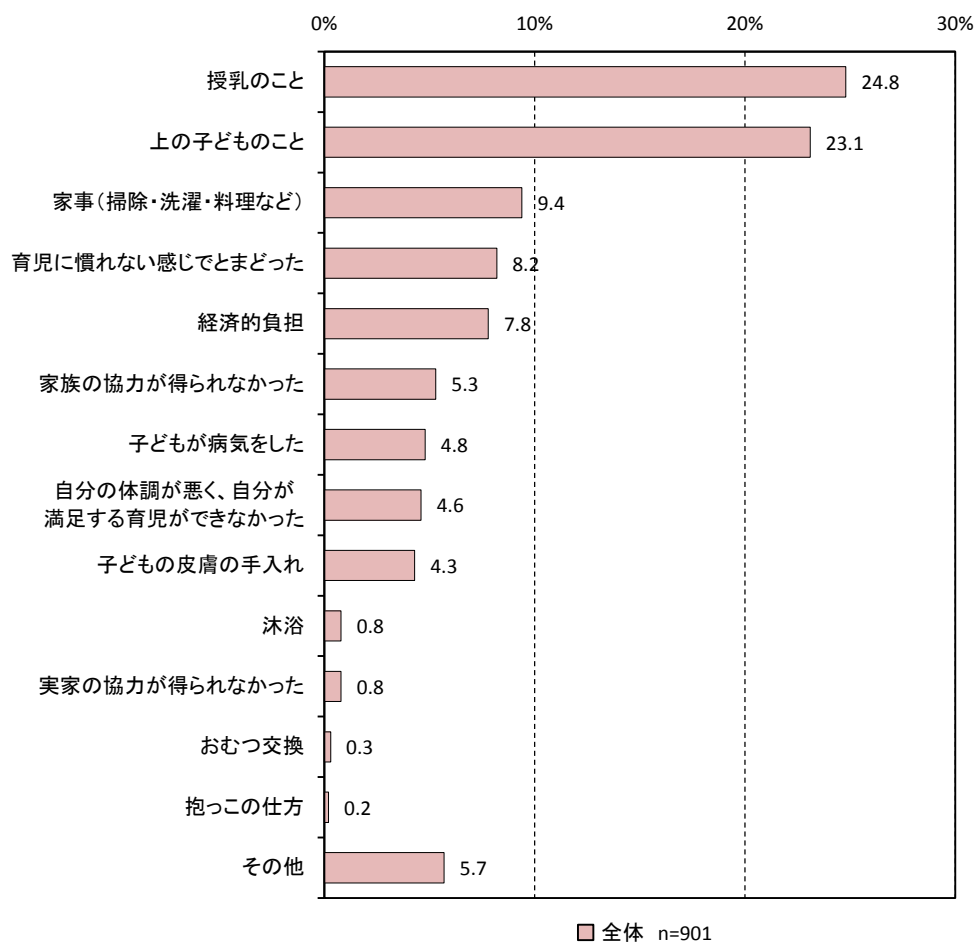
～「授乳」「上の子どものこと」で困った～

産後の育児に関することで最も困ったり、辛かったことは、「授乳のこと」が24.8%、「上の子どものこと」が23.1%の二点が上位項目となっている。

その他では、「家事（掃除・洗濯・料理など）」「子どもの皮膚の手入れ」「育児に慣れない感じだとまどった」「経済的負担」「家族の協力が得られなかった」等、家事や経済的負担、家族の協力に関する項目が続いている。

また、「その他」では、『泣き止まないため、体調不良なのではないかと不安だったこと』など、育児に関する具体的な事柄の記載が多くあった。

図35 産後の育児に関することで最も困ったり、辛かったこと

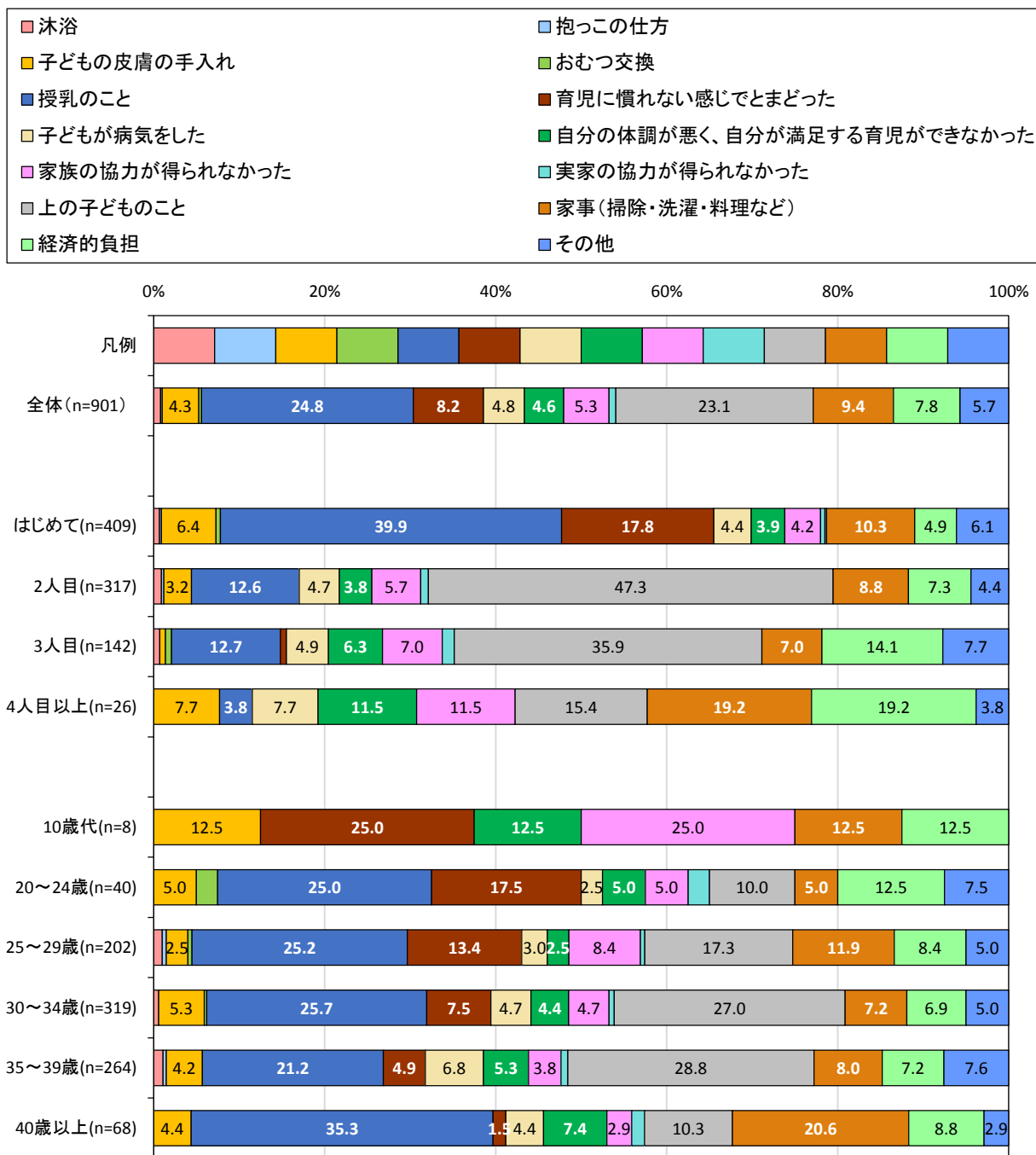


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると、『はじめて』の人は「授乳のこと」「育児に慣れない感じだとまどった」という意見が多く、『2人目』『3人目』の人は「上の子どものこと」、『3人目以降』は「経済的負担」、『4人目以降』は「家事のこと」という意見が多くみられる。

○年齢別でみると、各年代とも「授乳のこと」のウエイトが高い。また、『10歳代～20歳代』では「育児に慣れない感じだとまどった」、『25～39歳』では「上の子どものこと」の意見が多くみられる。

図36 産後の育児に関することで最も困ったり、辛かったこと × 子どもの数・年齢別



お母さんの声

- 子どもが寝なくて、睡眠不足で身体的につらかった。
- ほんの少し1~2時間ぐらいで一時的に預かりが簡単に出来る施設があると便利だと思います。
- 実際育児をしてみると、毎日可愛くて楽しくて幸せです。経済的な心配がなければ何人でも産み育てたいとさえ思います。
- 母乳育児の大切や母乳が出るような母親の体作りを産前から知る機会がもっとあると良いと思います。
- 上にも子どもがいる場合(2~3才差)、生まれた子よりも上の子の育児が大変です。
- 家にこもりっきりだったため、ストレスが溜まって発散できなかった。

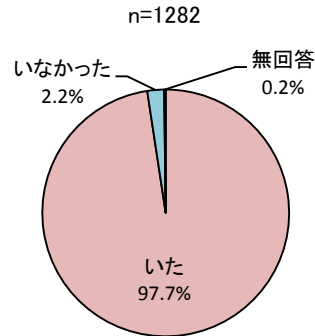
問 14 産後、困りごとなどを相談する相手はいましたか（1つ〇印）

(1) 産後の困りごとの相談相手の有無（1つ〇印）

～ほとんどの人に相談相手があった～

産後の困りごとの相談相手は、「いた」が 97.7%、「いなかった」が 2.2%とほとんどの人に相談相手があった。

図37 (1) 産後の困りごとの相談相手の有無

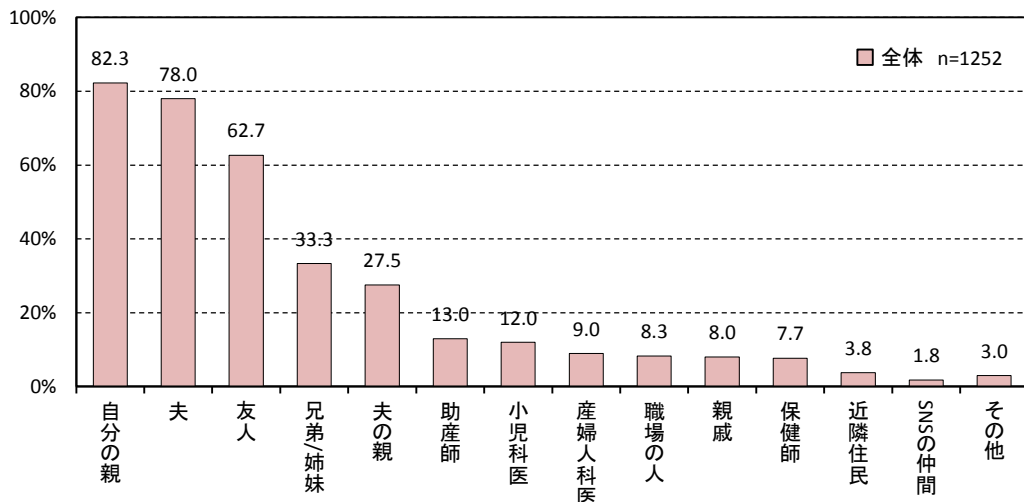


(2) 産後の困りごとの相談相手（複数回答）

～「自分の親」「夫」「友人」～

産後の困りごとの相談相手は、「自分の親」が 82.3%と最も多く、次いで「夫」が 78.0%、「友人」が 62.7%、「兄弟／姉妹」が 33.3%、「夫の親」が 27.5%などと続き、主に親、又は夫を相談先としている。

図38 産後の困りごとの相談相手（複数回答）



お母さんの声

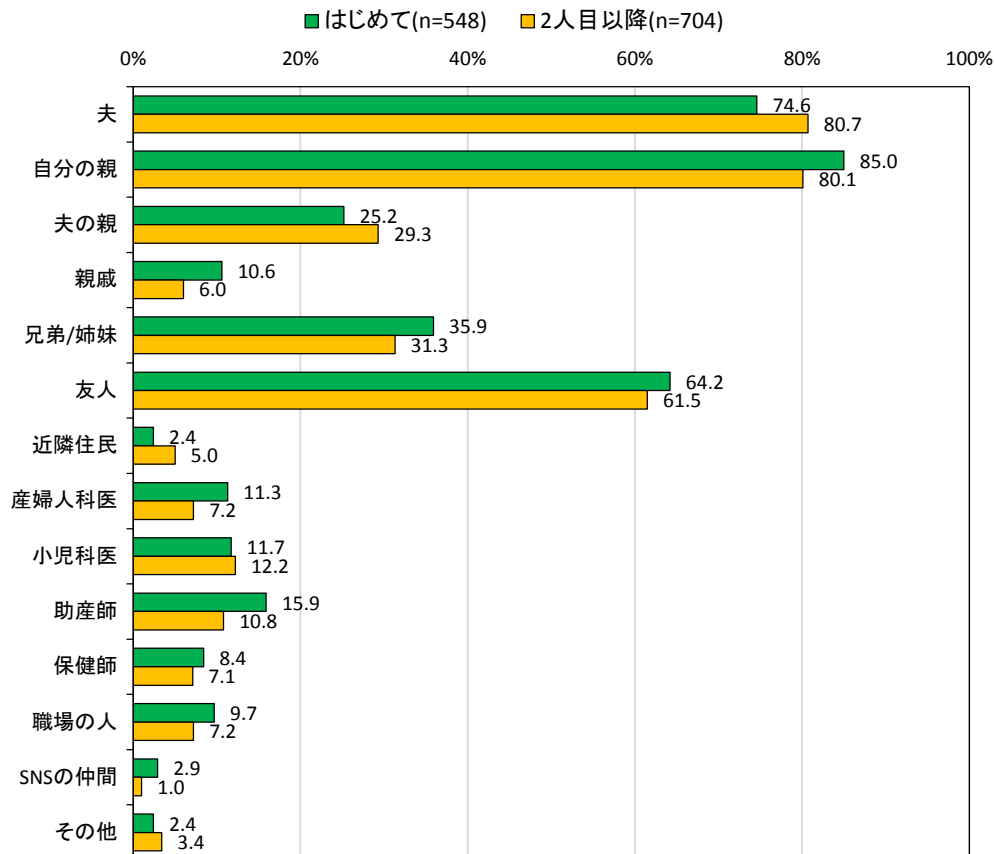
- 1人目の時は、精神的に辛かった。もう少し相談できる所があればと思った。
- 助産師の訪問が心強く、安心して子育てができると感じた。
- 今は、周りにサポートしてくれる人がいるので、辛さは感じず、楽しく育児ができているが、1人目の時は育児を1人きりでしている感じで不安で辛かったです。

【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると、『はじめて』『2人目以降』とも「自分の親」「夫」が最も多く、次いで「友人」と答えている。また僅かな差ながら『はじめて』の人は「自分の親」、『2人目以降』の人は「夫」に相談する割合が高い。

○年齢別でみると、『10歳代～29歳』では「自分の親」、『30歳以降』では「夫」の意見が多くみられる。また『10歳代～24歳』では他の年齢層と比較して「友人」が多くなっている。

図39 産後の困りごとの相談相手 × 子どもの数



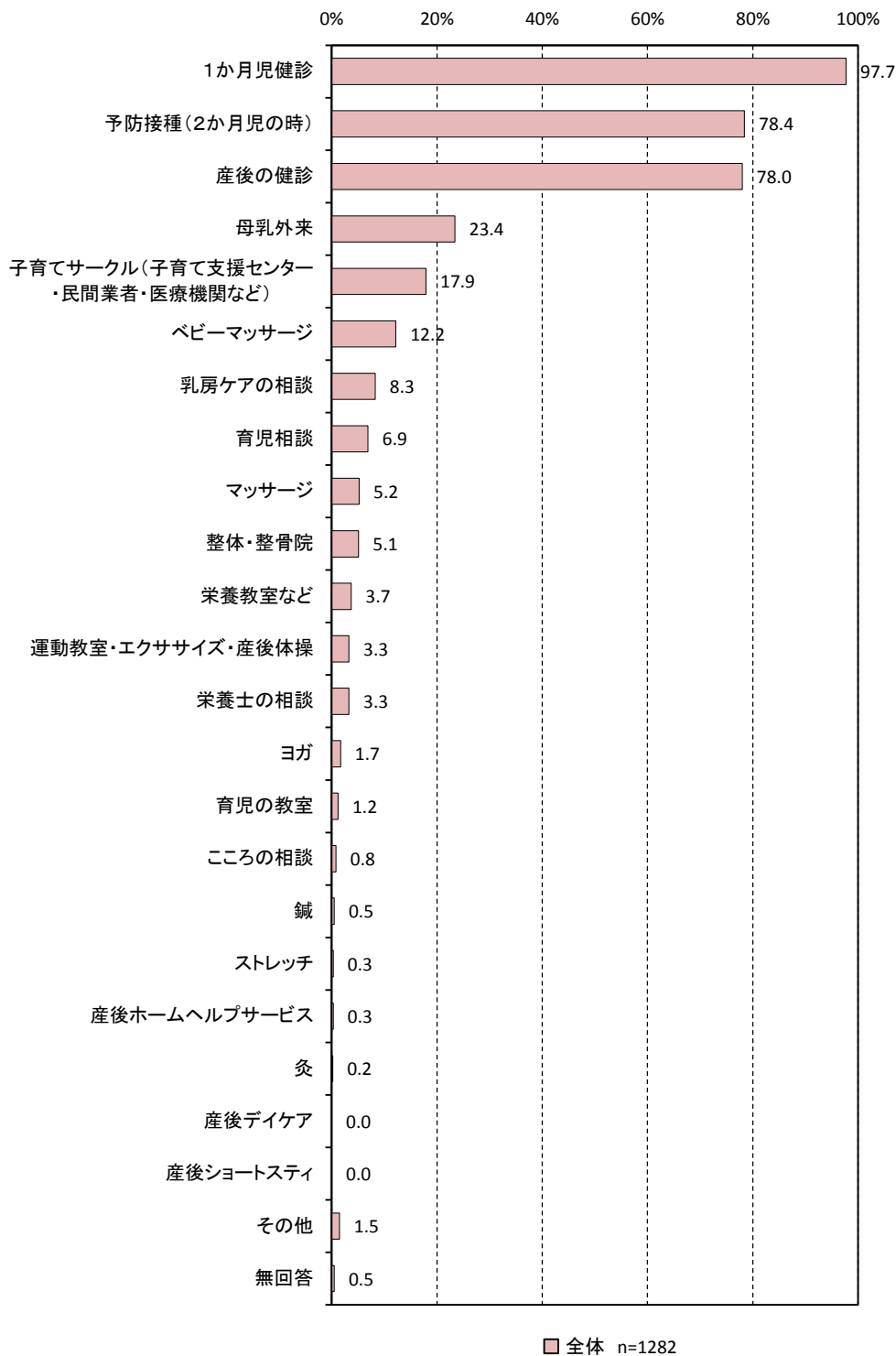
【表5】産後の困りごとの相談相手先 × 年齢別

(%)	夫	自分の親	夫の親	親戚	兄弟/姉妹	友人	近隣住民	産婦人科医	小児科医	助産師	保健師	職場の人	SNSの仲間	その他
10歳代 (n=9)	33.3	88.9	33.3	0.0	22.2	66.7	0.0	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0	11.1
20～24歳 (n=62)	62.9	90.3	16.1	8.1	30.6	69.4	1.6	8.1	6.5	11.3	4.8	6.5	6.5	1.6
25～29歳 (n=262)	75.6	85.9	27.1	9.9	32.1	60.7	5.3	9.5	8.4	11.1	4.6	13.0	2.3	1.9
30～34歳 (n=458)	81.2	84.1	29.9	8.1	35.2	64.8	5.0	9.8	14.6	13.3	8.1	6.3	2.2	3.7
35～39歳 (n=361)	79.5	79.8	27.7	6.6	33.0	61.2	2.2	8.0	11.9	14.7	8.9	7.5	0.8	2.8
40歳以上 (n=100)	78.0	68.0	23.0	8.0	32.0	59.0	2.0	8.0	12.0	12.0	10.0	10.0	0.0	3.0

問 15 お産～産後2か月までに受診・利用したものは何ですか（複数回答）
 ～1か月児健診、産後の健診、母乳外来～

お産～産後2ヵ月までに受診・利用したものは、「1か月児健診」が97.7%と最も多く、次いで「予防接種(2か月児の時)」が78.4%、「産後の健診」が78.0%と続いている。

図40 お産～産後2か月までに受診・利用したもの（複数回答）

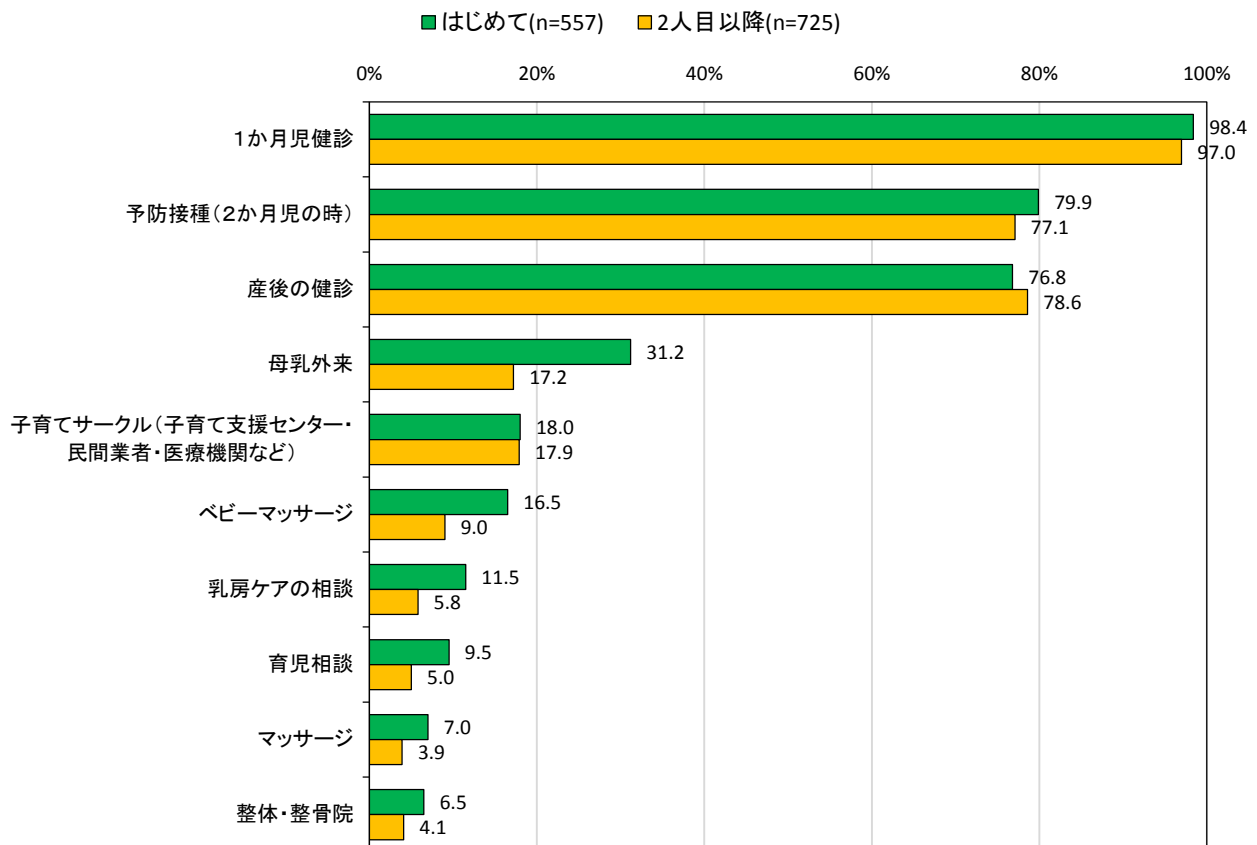


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると、子どもの数にかかわらず「1か月健診」「予防接種」「産後の健診」が多い。さらに『はじめて』の人は『2人目以降』の人と比較して、「母乳外来」「ベビーマッサージ」「乳房ケアの相談」「育児相談」などのサービスを利用している。

○年齢別でみると、『10歳代～30歳代』で「子育てサークル」の利用、『20歳代～34歳』で「ベビーマッサージ」の利用が多くみられる。

図41 お産～産後2か月までに受診・利用したもの(上位10項目) × 子どもの数



【表6】 お産～産後2か月までに受診・利用したもの(上位10項目) × 年齢別

(%)	1か月児健診	(2か月児の時) 予防接種	産後の健診	母乳外来	子育てサークル	ベビーマッサージ	乳房ケアの相談	育児相談	マッサージ	整体・整骨院
10歳代 (n=9)	100.0	88.9	77.8	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0
20～24歳 (n=65)	96.9	80.0	75.4	24.6	16.9	10.8	12.3	1.5	7.7	4.6
25～29歳 (n=268)	98.9	79.1	75.0	22.4	21.3	17.9	7.5	8.2	5.2	6.0
30～34歳 (n=465)	97.2	78.9	78.9	25.2	18.3	12.0	9.2	8.0	3.7	4.5
35～39歳 (n=373)	97.1	78.0	77.5	21.7	16.6	9.7	7.2	6.4	5.9	5.9
40歳以上 (n=102)	98.0	72.5	83.3	22.5	12.7	9.8	6.9	4.9	7.8	3.9

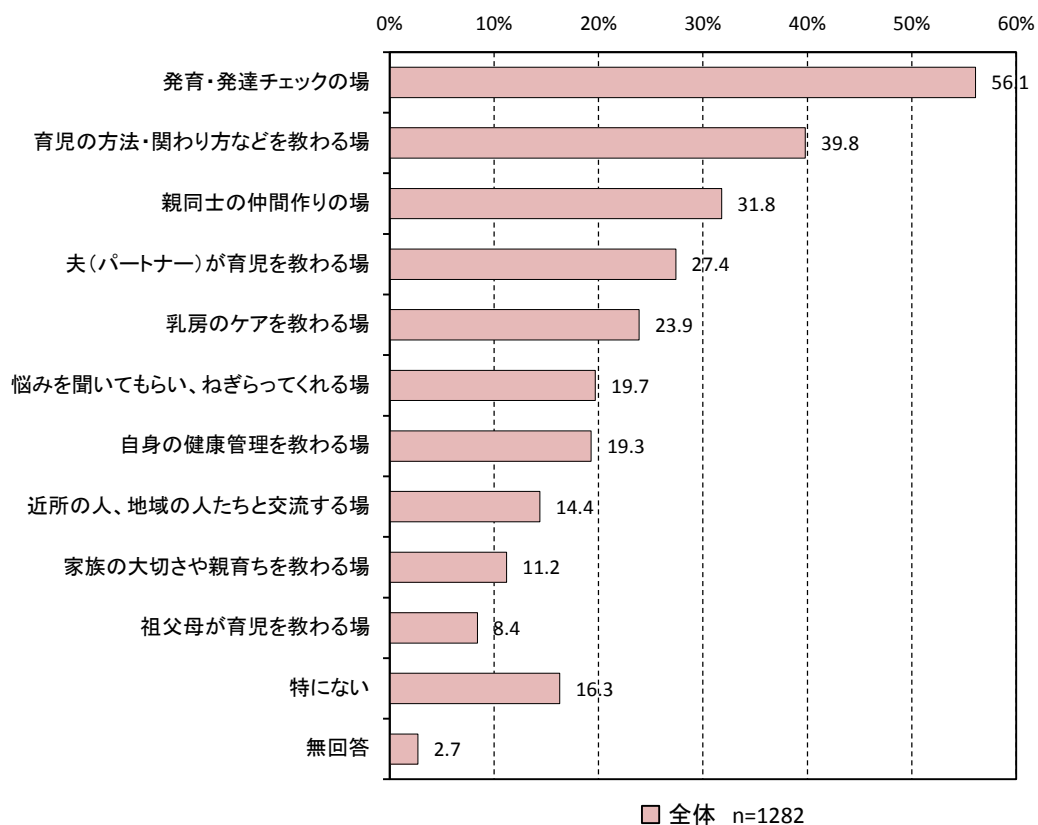
◆これまでに利用したサービスやお考えについて、お尋ねします。

問16 あなたのお住まいの地域で、以下の機会があれば参加・利用しますか
(複数回答)

～発育・発達チェックや育児の方法等を教わる場の利用希望が多い～

住まいの地域で機会があれば参加・利用したいサービスは、「発育・発達チェックの場」(健診)が56.1%と最も多く、次いで「育児の方法・関わり方などを教わる場」(相談)が39.8%、「親同士の仲間作りの場」(教室)が31.8%、「夫(パートナー)が育児を教わる場」(教室)が27.4%、「乳房のケアを教わる場」(相談)が23.9%、「悩みを聞いてもらい、ねぎらってくれる場」(相談)が19.7%、「自身の健康管理を教わる場」(教室)が19.3%と続いている。

図42 参加・利用したいサービス (複数回答)



【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

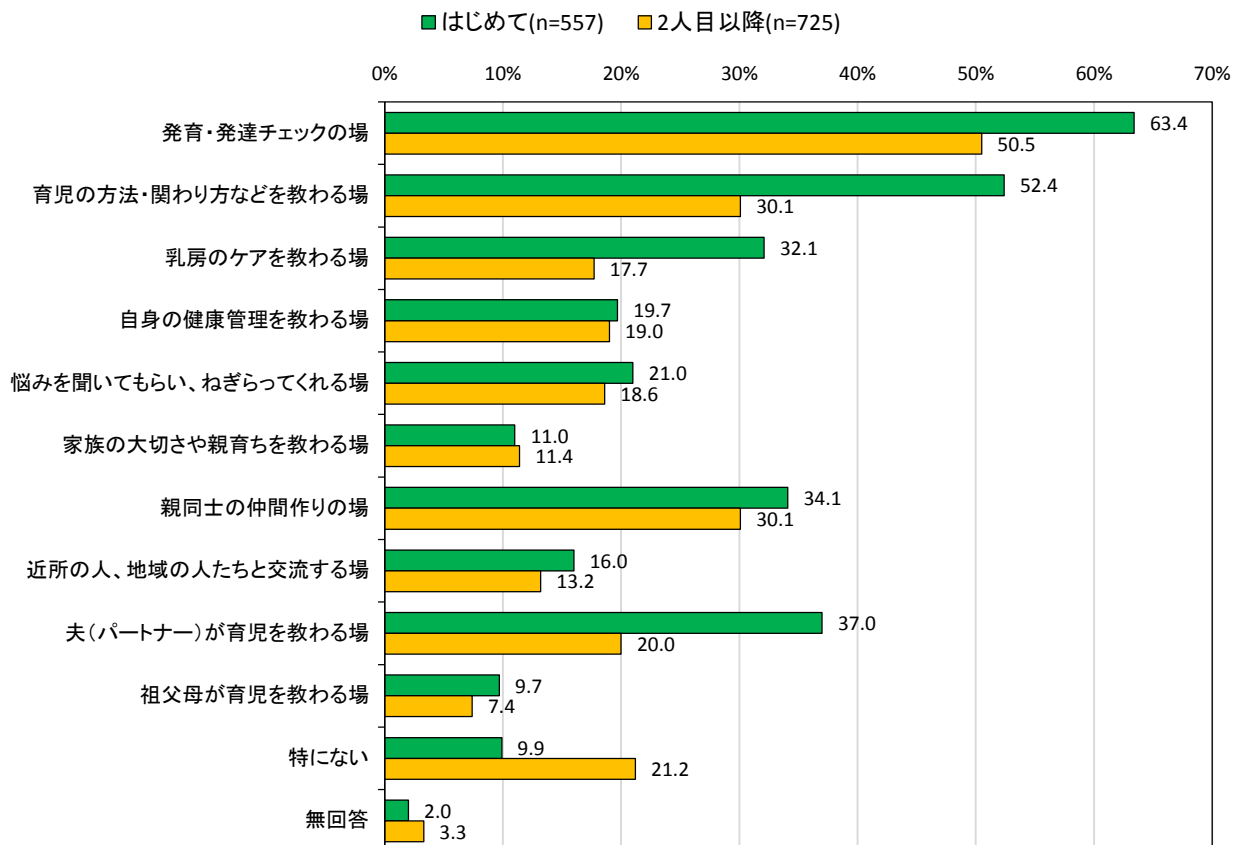
○子どもの数別でみると、『はじめて』の人は「発育・発達チェックの場」「育児の方法・関わり方などを教わる場」が多く、その他には「夫(パートナー)が育児を教わる場」「親同士の仲間作りの場」「乳房のケアを教わる場」など、相談や教室の開催を希望している。

○年齢別でみると、『10歳代～20歳代』では『30歳代以上』の人に比べ、「夫(パートナー)が育児を教わる場」、『35歳以上』では「乳房のケアを教わる場」「自身の健康管理を教わる場」を希望する意見が多くみられる。

お母さんの声

- 産後、助産師に母乳相談が気軽に出来るサービス、乳房マッサージなどの支援があれば。
- 夫の協力がしてもらえるよう父親学級を充実してほしい。
- 気軽に産後の母親が集まって相談したり、専門家の指導が受けられるところがあっても良いと思います。
- 産後にリフレッシュできる場所や時間が欲しいので、託児付で、運動など体を動かす企画があれば参加したいです。

図43 参加・利用したいサービス × 子どもの数



【表7】参加・利用したいサービス × 年齢別

(%)	の場 発育・ 発達 チェック	育 児の 方 法 ・ 関 わり 方 を 教 わ る 場	乳 房 の ケ ア を 教 わ る 場	自 身 の 健 康 管 理 を 教 わ る 場	悩 み を 聞 い て も ら い 、 ね ぎ ら っ て く れ る 場	家 族 の 大 切 さ や 親 育 ち を 教 わ る 場	親 同 士 の 仲 間 作 り の 場	近 所 の 人 、 地 域 の 人 と 交 流 す る 場	夫 (パ ー ト ナ ー) が 育 児 を 教 わ る 場	祖 父 母 が 育 児 を 教 わ る 場	特 に な い	無 回 答
10歳代 (n=9)	44.4	44.4	33.3	22.2	33.3	22.2	44.4	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0
20～24歳 (n=65)	55.4	36.9	16.9	16.9	23.1	9.2	32.3	18.5	43.1	4.6	23.1	1.5
25～29歳 (n=268)	58.6	40.7	22.4	12.7	20.5	12.3	30.6	14.2	32.1	8.2	17.2	2.6
30～34歳 (n=465)	56.3	40.2	22.8	18.5	19.8	11.0	33.5	16.1	25.2	6.2	15.5	3.7
35～39歳 (n=373)	55.0	39.4	26.5	23.9	18.0	12.6	31.1	13.7	25.5	12.1	15.8	1.6
40歳以上 (n=102)	53.9	38.2	27.5	25.5	19.6	4.9	28.4	6.9	21.6	7.8	16.7	3.9

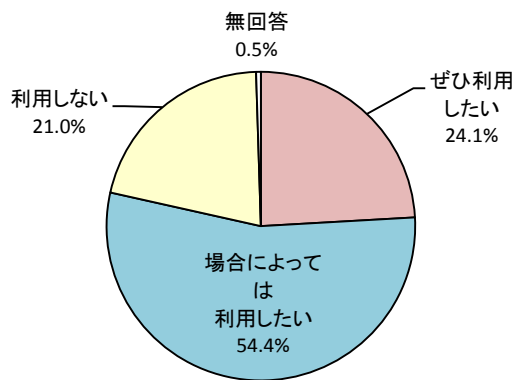
問17 お産から産後2か月くらいまでの間に、以下のサービスが提供されていたならば、利用してもよいと思いますか

【産後デイケア〔日帰り滞在型〕】

問17-1 (1)「産後デイケア〔日帰り滞在型〕」⇒日帰りで休息と食事を提供し、育児の知識や技術、健康管理を教えてくれるサービスを利用したいと思いますか？（1つ〇印）
 ～「利用してみたい」が約8割弱～

「産後デイケア〔日帰り滞在型〕」サービスは、「ぜひ利用したい」が24.1%、「場合によっては利用したい」が54.4%と利用に対して前向きな意見が78.5%と約8割となっている。

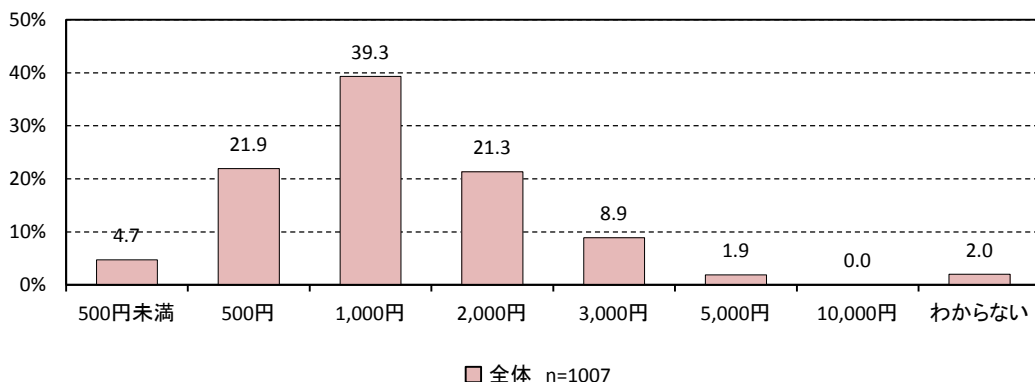
図44 (1) 産後デイケア〔日帰り滞在型〕の利用希望
n=1282



(2) 1日（6時間、昼食おやつ付）では、自己負担費用がいくらまでなら利用しますか？（1つ〇印）
 ～1,000円以内が約7割～

サービス利用に対する自己負担費用は、「1,000円」が39.3%と最も多く、次いで「500円」が21.9%、「2,000円」が21.3%と続き、1,000円以内が65.9%と約7割近くを占めている。

図45 (2) 産後デイケア〔日帰り滞在型〕の自己負担限度額

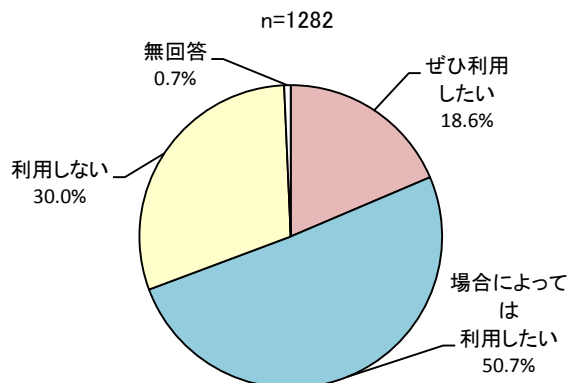


【産後ケア〔訪問型〕】

問17-2 (1)「産後ケア〔訪問型〕」⇒助産師など専門家が家庭訪問をし、育児の知識や技術、健康管理を教えてくれるサービスを利用したいと思いますか？（1つ〇印）
 ～「利用してみたい」が約7割弱～

「産後ケア〔訪問型〕」サービスは、「ぜひ利用したい」が18.6%、「場合によっては利用したい」が50.7%と、利用に対して前向きな意見が69.3%と約7割となっている。

図46 (1) 産後ケア〔訪問型〕の利用希望

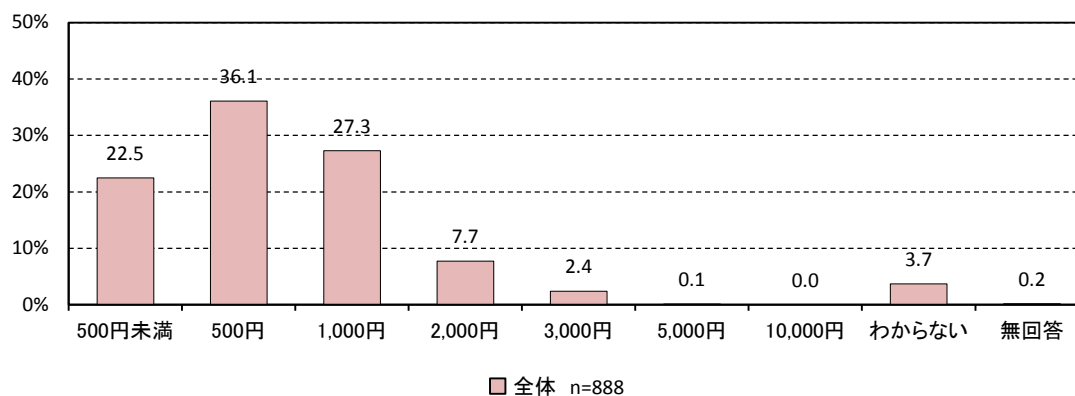


(2) 1回につき、自己負担費用がいくらまでなら利用しますか？（1つ〇印）

～500円以内が約6割～

サービス利用に対する自己負担費用は、「500円」が36.1%と最も多く、次いで「1,000円」が27.3%、「500円未満」が22.5%と続き、500円以内が58.6%と約6割となっている。

図47 (2) 産後ケア〔訪問型〕の自己負担限度額



【産後ショートステイ〔宿泊型〕】

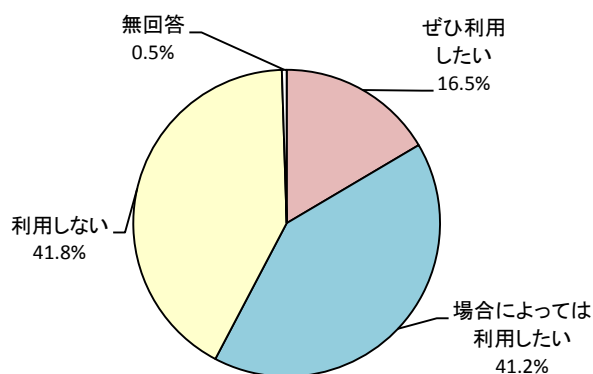
問17-3 (1)「産後ショートステイ〔宿泊型〕」⇒上記の「産後デイケア【日帰り滞在型】」に宿泊と入浴、夜間の食事がついて、ゆっくり母児同室で休息できるサービスを利用したいと思いますか？（1つ〇印）

～「利用してみたい」が約6割弱～

「産後ショートステイ〔宿泊型〕」サービスは、「ぜひ利用したい」が16.5%、「場合によっては利用したい」が41.2%と、利用に対して前向きな意見が57.7%と約6割弱となっている。

図48 (1) 産後ショートステイ〔宿泊型〕の利用希望

n=1282

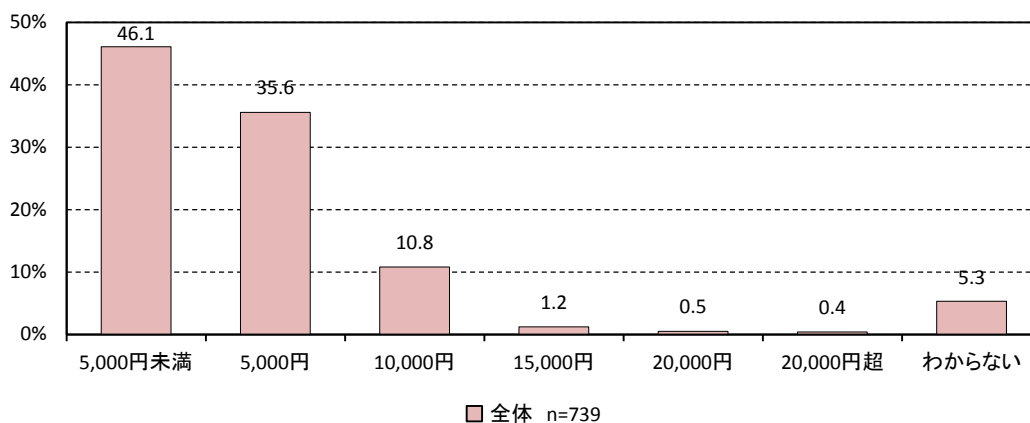


(2) 1泊4食デイケア1日分、食事（昼、おやつ、夕、夜食、朝）の場合、1回につき自己負担費用がいくらまでなら利用しますか？（1つ〇印）

～5,000円以内が約8割強～

サービス利用に対する自己負担費用は、「5,000円未満」が46.1%と最も多く、次いで「5,000円」が35.6%、「10,000円」が10.8%と続き、5,000円以内が81.7%と約8割強となっている。

図49 (2) 産後ショートステイ〔宿泊型〕の自己負担限度額



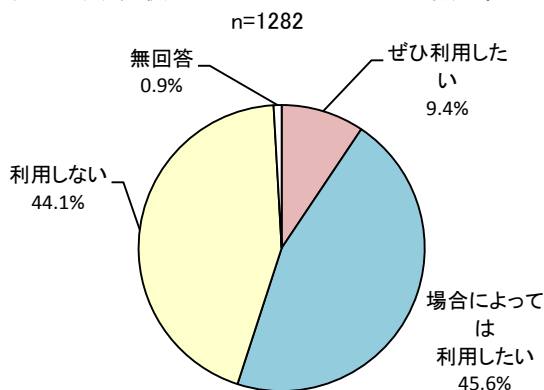
【産後ホームヘルプサービス】

問17-4 (1)「産後ホームヘルプサービス」⇒家事や育児を行うことが困難な場合に、ホームヘルパーを派遣して母親や乳児の身の回りの世話や育児等を支援するサービスを利用してみたいと思いますか？（1つ〇印）

～「利用してみたい」が約5割強～

「産後ホームヘルプサービス」は、「ぜひ利用したい」が9.4%、「場合によっては利用したい」が45.6%と、利用に対して前向きな意見が55.0%と約5割強となっている。

図50 (1) 産後ホームヘルプサービスの利用希望

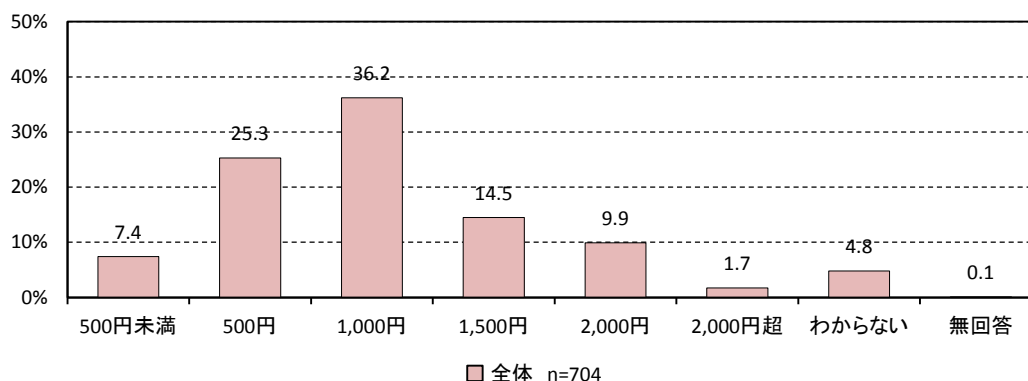


(2)1回2時間の場合、1回につき自己負担費用がいくらまでなら利用しますか？(1つ〇印)

～1,000円以内が約7割～

自己負担の限度額は、「1,000円」が36.2%と最も多く、次いで「500円」が25.3%、「1,500円」が14.5%、「2,000円」が9.9%と続いているが、1,000円以内が68.9%と約7割を占めている。

図51 (2) 産後ホームヘルプサービスの自己負担限度額

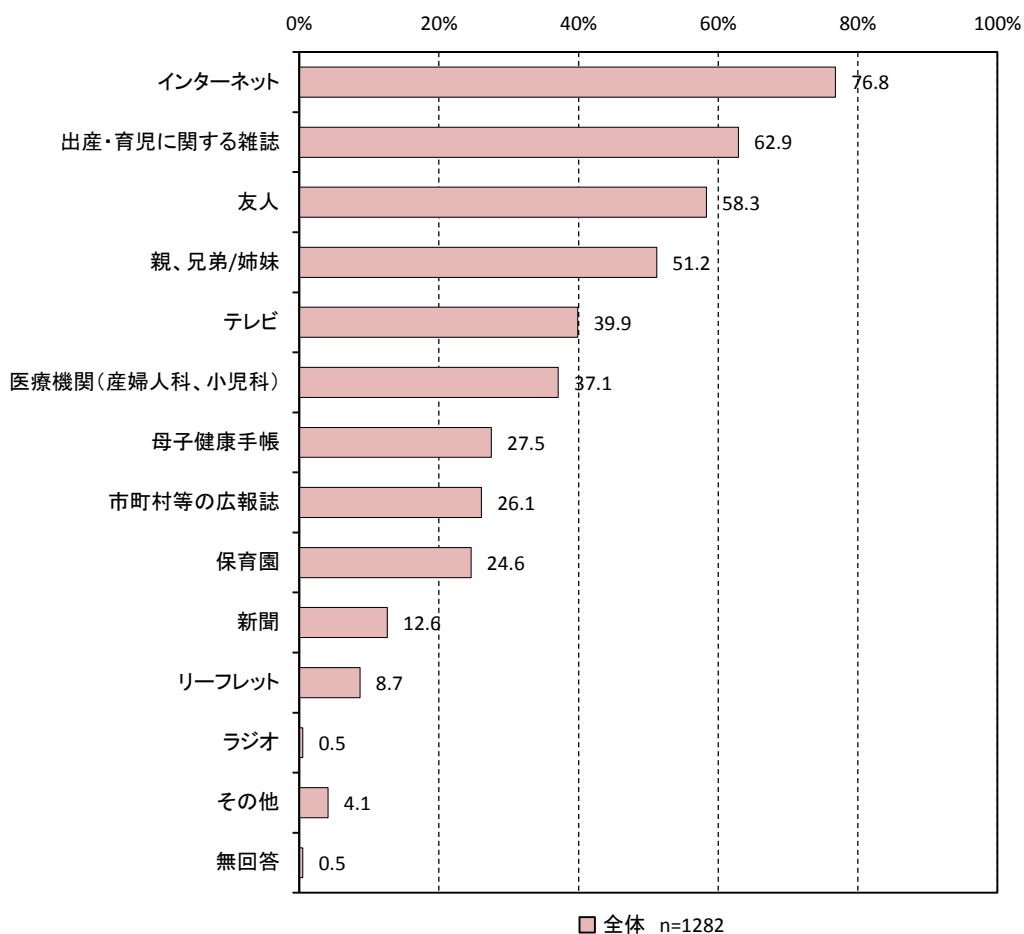


問 18 育児情報は、どこから取得していますか（複数回答）

～「インターネット」を情報先が7割を超える～

育児情報の取得先は、「インターネット」が76.8%と最も多く7割以上を占めている。次いで「出産・育児に関する雑誌」が62.9%、「友人」が58.3%、「親、兄弟/姉妹」が51.2%、「テレビ」が39.9%、「医療機関（産婦人科、小児科）」が37.1%、「母子健康手帳」が27.5%、「市町村の広報誌」が26.1%と続いている。

図52 育児情報の取得先（複数回答）

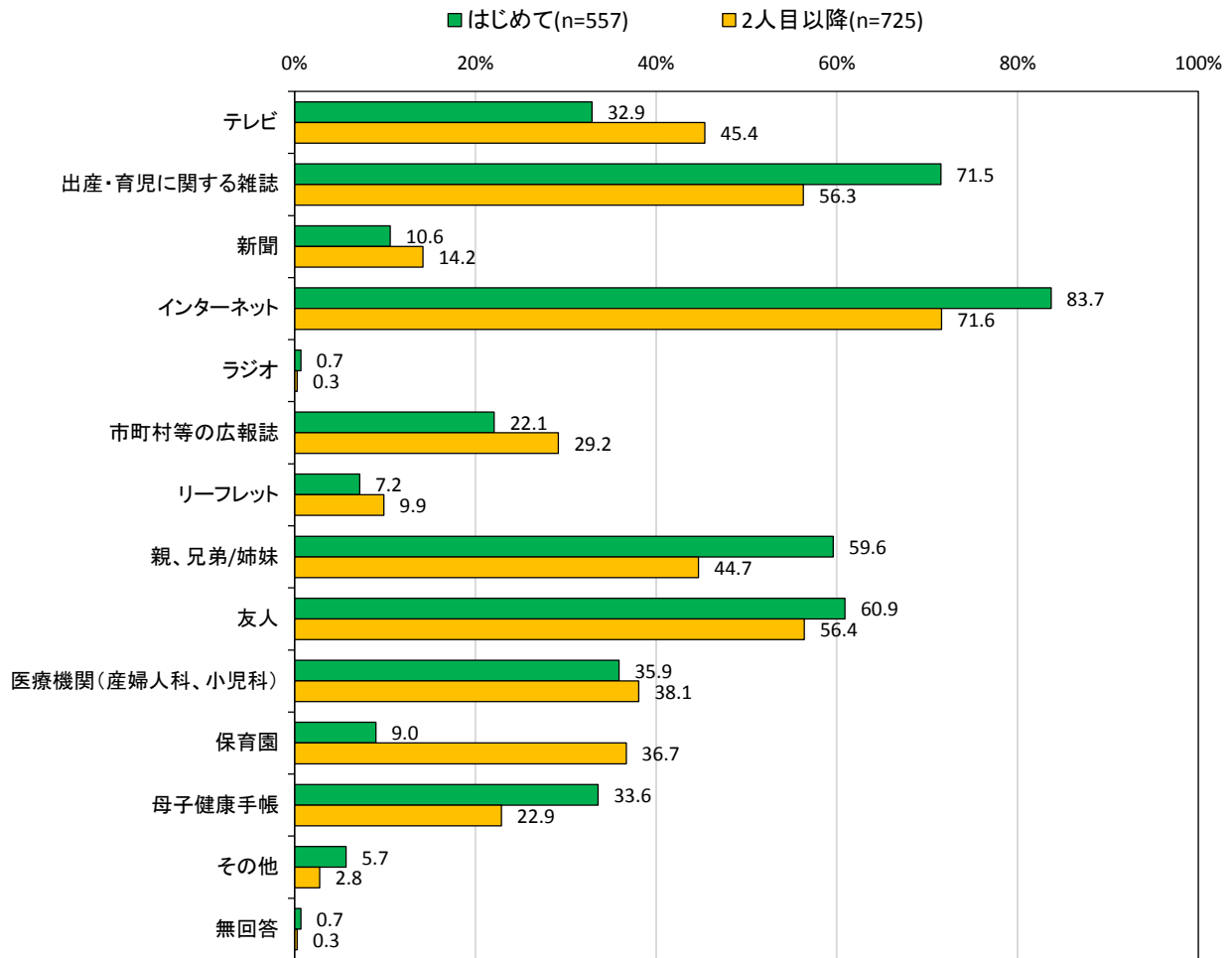


■ 全体 n=1282

【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

- 子どもの数別で見ると、『はじめて』の人は、「インターネット」「出産・育児に関する雑誌」「親、兄弟/姉妹」「友人」が上位を占めている。『2人目以降』でも同様の傾向は見られるものの、『はじめて』の人に比べ、「市町村の広報誌」「テレビ」「保育園」のウエイトが多くみられる。
- 年齢別で見ると、『10歳代～20歳代』では「インターネット」「親、兄弟/姉妹」「医療機関（産婦人科、小児科）」「母子健康手帳」が多く、『25歳以上』では「市町村の広報誌」「保育園」が多くなっている。

図53 育児情報の取得先 × 子どもの数



【表 8】 育児情報の取得先 × 年齢別

(%)	テレビ	出産・育児に関する雑誌	新聞	インターネット	ラジオ	市町村等の広報誌	リーフレット	親、兄弟/姉妹	友人	医療機関(産婦人科、小児科)	保育園	母子健康手帳	その他	無回答
10歳代 (n=9)	55.6	55.6	11.1	88.9	0.0	33.3	11.1	100.0	22.2	44.4	11.1	44.4	0.0	0.0
20~24歳 (n=65)	50.8	63.1	1.5	89.2	0.0	12.3	4.6	58.5	55.4	47.7	10.8	33.8	0.0	0.0
25~29歳 (n=268)	42.2	63.1	8.2	80.6	0.4	24.3	6.3	57.8	61.9	33.2	25.7	33.2	3.7	0.7
30~34歳 (n=465)	41.3	65.4	13.5	77.0	0.6	28.8	9.0	50.8	61.1	38.9	24.1	23.2	4.9	0.9
35~39歳 (n=373)	35.1	58.4	15.5	72.4	0.3	25.7	9.4	46.9	55.0	34.0	26.0	27.1	4.0	0.0
40歳以上 (n=102)	37.3	67.6	16.7	73.5	1.0	28.4	13.7	42.2	53.9	43.1	29.4	28.4	3.9	0.0

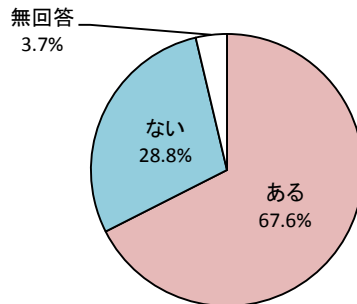
問 19 産後、支援して欲しかった、または今後充実してほしい支援がありますか
 (1つ〇印)

(1) 産後に支援してほしかった、今後充実してほしい支援の有無(1つ〇印)

～支援を希望する意見が約7割弱～

産後に支援してほしかった、または今後充実してほしい支援の有無は、「ある」が67.6%、「ない」が28.8%と7割近くの人が支援を希望している。

図54 (1) 産後に支援してほしかった、今後充実してほしい支援の有無
 n=1282

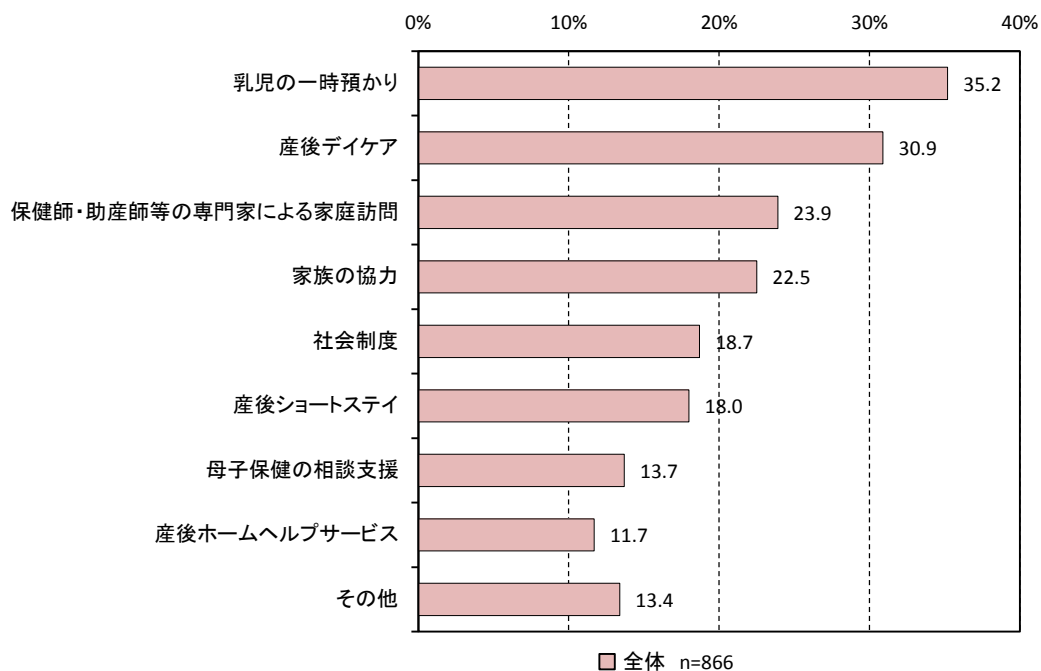


(2) 産後や今後充実を希望する支援策(複数回答)

～「乳児の一時預かり」「産後デイケア」「保健師等の家庭訪問」「家族の協力」～

産後や今後、充実してほしい支援策は、「乳児の一時預かり」が35.2%と最も多く、次いで「産後デイケア」が30.9%、「保健師等の家庭訪問」が23.9%、「家族の協力」が22.5%、「社会制度」が18.7%、「産後のショートステイ」が18.0%、「母子保健の相談支援」が13.7%、「産後ホームヘルプサービス」が11.7%と続いている。

図55 (2) 産後や今後充実を希望する支援策(複数回答)

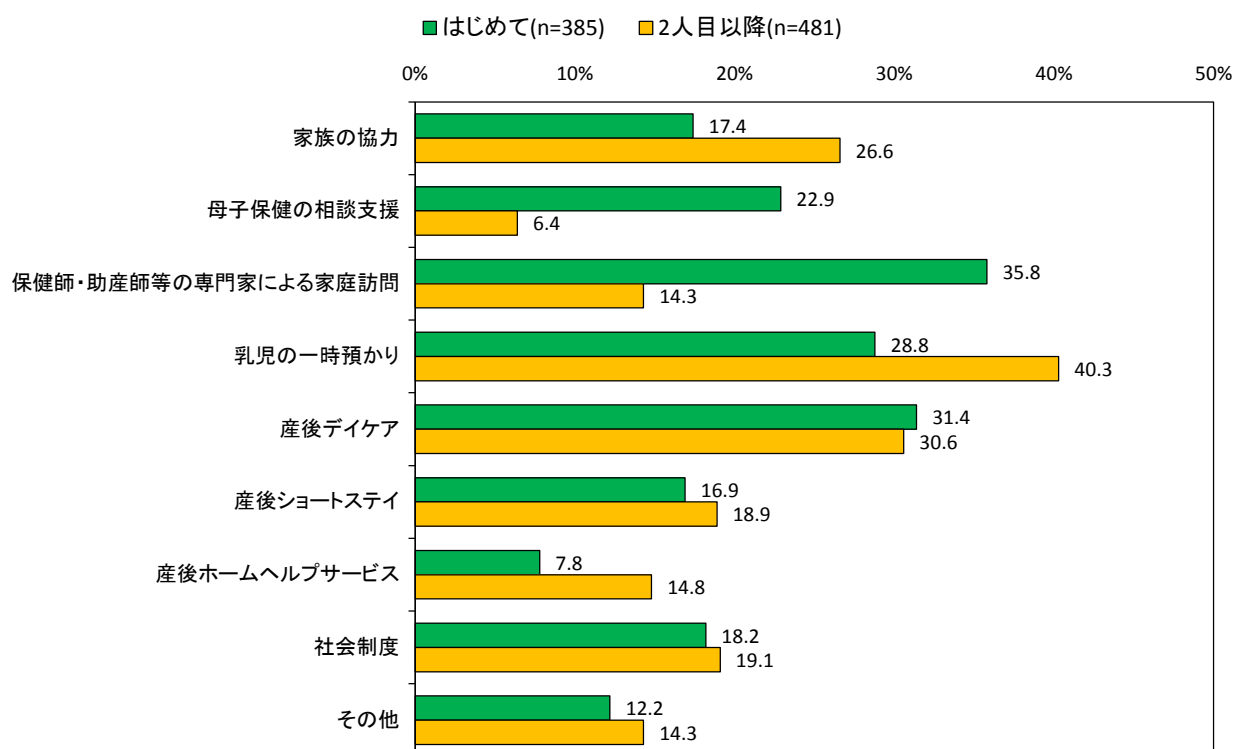


【子どもの数別・母親の年齢別の特徴】

○子どもの数別でみると『はじめて』の人は、トップに「保健師・助産師等の専門家による家庭訪問」、次いで「産後デイケア」「乳児の一時預かり」を希望する意見が多くみられる。また、『2人目以降』では、トップに「乳児の一時預かり」、次いで「産後デイケア」「家族の協力」を望む声が多くなっている。

○年齢別でみると、各年齢層とも「乳児の一時預かり」「産後デイケア」「家族の協力」が多く、『25歳～34歳』では「保健師・助産師等の専門家による家庭訪問」、『35歳以上』では「産後ショートステイ」が多くみられる。

図56 産後や今後充実を希望する支援策 × 子どもの数



【表9】産後や今後充実を希望する支援策 × 年齢別

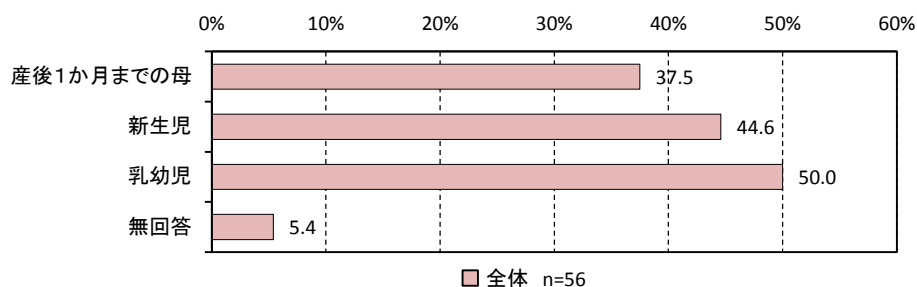
(%)	家族の協力	母子保健の相談支援	保健師・助産師等の専門家による家庭訪問	乳児の一時預かり	産後デイケア	産後ショートステイ	産後ホームヘルプサービス	社会制度	その他
10歳代 (n=5)	40.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	60.0	20.0
20～24歳 (n=33)	27.3	12.1	18.2	33.3	30.3	9.1	9.1	27.3	3.0
25～29歳 (n=173)	24.9	17.3	30.1	34.1	22.5	11.6	8.7	17.3	12.1
30～34歳 (n=325)	20.3	14.8	26.2	35.7	30.8	17.5	12.0	19.4	14.8
35～39歳 (n=258)	22.1	11.6	19.8	35.3	35.3	21.3	13.6	18.2	14.3
40歳以上 (n=72)	25.0	8.3	16.7	36.1	36.1	27.8	9.7	13.9	11.1

(3) 産後や今後充実を希望する支援策の具体的内容

① 保健師・助産師等の専門家による家庭訪問の具体的内容

保健師・助産師等の専門家による家庭訪問を希望した人に、具体的内容を聞いてみると、「乳幼児」が50.0%と最も多く、次いで「新生児」が44.6%、「産後1か月までの母」が37.5%となっている。

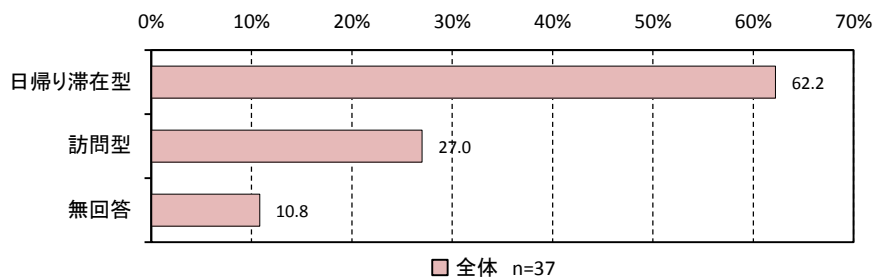
図57 ①保健師・助産師等の専門家による家庭訪問（複数回答）



② 産後デイケアの具体的内容

産後デイケアを希望した人に、具体的な内容を聞いてみると、「日帰り滞在型」が62.2%と圧倒的に多く、次いで「訪問型」が27.0%となっている。

図58 ②産後デイケア（複数回答）



③ 具体的な支援に対する意見（自由意見の抜粋）

○家族の協力に対する意見

- ・夫が育児を教わる場（抱き方、あやし方、おむつ替えやミルクの作り方）
- ・産後の女性の体調、精神面について、夫が分かっていない、学ぼうとしないので、そういう面を支援して欲しい。
- ・夫が産後の体に関してもっと知識を持って欲しい。
- ・旦那がもう少し育児に参加してほしい。
- ・入浴、夜寝るとき、1人では難しいので夫に家に居てほしい。
- ・夫の家事手伝い。夫の協力
- ・1人目の子どもの面倒を見てほしい
- ・夫が育休までではなくても、早く帰宅できる支援があれば助かります。
- ・夫の帰宅時間が早まればよかった。
- ・父親の育児休暇を取得しやすい社会に！！

○産後ホームヘルプサービスに対する意見

- ・家事（掃除、夕食作り）を手伝ってもらえたら嬉しい。
- ・買い物代行
- ・夕方の忙しい時間帯に子どもを見てほしかった。
- ・家事や休みたいときに泣くので、少しでも見てくれる人がいるのはとても助かる。
- ・上の子の幼稚園の送迎
- ・産後1カ月、平日5日間で利用したい。毎日ですね。

○社会制度に対する意見

- ・上の子の面倒や実家に帰省できない事情のある家庭への支援
- ・男性（夫）が育児にもっと関わられるようにする勉強会（土日の開催）
- ・もっと男性が育休をとりやすい環境になってくれると嬉しい
- ・産後休暇が短い。育児休暇をどの職場でも3年とれるようにしてほしい。
- ・子育てをしているママが助かるような就業支援
- ・保育園や休日に利用できる託児所などの整備
- ・母親が働きやすい環境、2～3人目をもうけたいと思える支援
- ・育児休業中の収入についての制度
- ・上の子どもの保育園、できれば1年以上育休でも預かっていただきたい
- ・例えば、病気で生まれた子の支援、助成を具体的に教えてくれる etc、行政に相談してもはっきりとした回答が得られなかったため、その辺のフォローをもっと充実させても良いと思う
- ・スキルアップ研修というか人並みに働ける勇気を付けられる職場研修
- ・お店の授乳室やおむつ替え台の充実、子連れで行きやすい飲食店の増加
- ・就業時間の短縮（2H以上）、時短の期間延長（小学校入学までとか）、育休の延長

○その他

- ・ネット上で小児科の医者に質問などが出来るページがあれば利用したかったです。過去の質問のQ&Aなど（病気・赤ちゃんの発育チェック）を見られると、色々不安が解消されたかと思います。※ネット上にもいろいろなものがあるが、鳥取としてHPにあると安心します。
- ・保育園をもっと増やして欲しい。里帰り出産時も保育園に在籍できる制度があればよかった。
- ・多目的トイレ、授乳室のある施設を増やしてほしい。赤ちゃん連れで利用できる飲食店を簡単に検索できるようにしてほしい。
- ・配食サービス、産後すぐは体力的につらいので、お弁当等を届けてもらえたら嬉しいです。